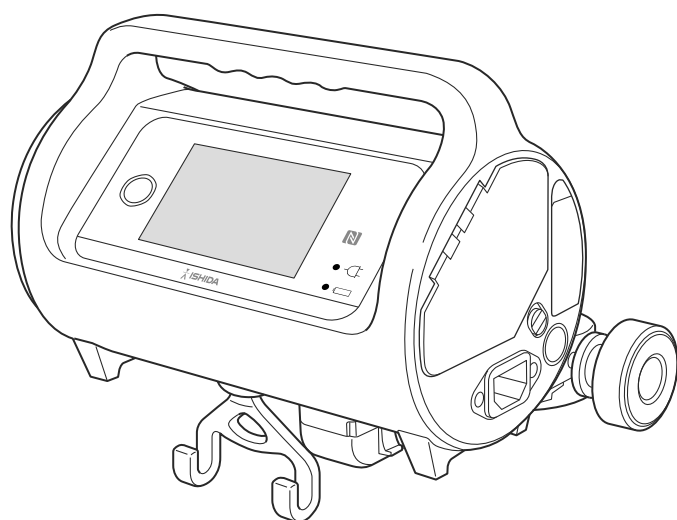


排尿計測記録システム

ウロチェッカー



取扱説明書

- ・本製品の設置、操作及び保守・点検を行うため、この説明書をよく読んでください。
- ・この説明書はいつでも調べられるように大切に保管してください。

イシダメディカル株式会社

はじめに

このたびは弊社製品「ウロチェッカー」(以降、「本製品」と記載)をご購入いただき、誠にありがとうございます。ご使用にあたっては、本書並びに電子化された添付文書をよくお読みください。

電子化された添付文書は、製品本体および個装箱に貼付されたラベルに記載されているバーコード (GS1-128 形式、GS1 データマトリックス形式) を、スマートフォンやタブレットなどにインストールした専用アプリで読み込むことにより閲覧いただけます。

紙媒体での添付文書をご所望の場合は、弊社までご連絡ください。

本製品には IEC 60601-1 で定義される基本性能はありません。

おねがい

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成していますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えします。最寄りの弊社販売店までご連絡ください。
- 機器、システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップなどの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。



みやすく読み間違えにくい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

重要なお知らせ

製品の用途について

- 本製品は、専門の医療施設環境下にてウロバッグを使用する患者の時間尿量を計測し表示します。
- 尿量計測は、ウロバッグを歪みゲージ式ロードセルに吊り下げることにより尿量を計測し、設定された時間あたりの尿量を時間尿量として計測する質量計測方式で行います。

安全について

- ご使用の前に、「1 安全上のご注意（必ずお守りください）」を必ずお読みください。
本製品を安全に取り扱うための重要な注意事項が記載されています。

商標、著作権について

- 本書に掲載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- 本書等にはイシダメディカル株式会社の秘密情報が含まれており、弊社が本書等の一切の著作権を保有しています。秘密情報を第三者に開示したり、本書等を無断で複製・複写することは、全部であるか一部であるかを問わず、弊社の事前の書類による承諾が必要です。
- 弊社は、本書等および本製品に関するノウハウを独占的に保有しています。
弊社は、本書等に定められた条件および範囲で、かつ、本製品を使用・維持する目的に限り、ノウハウを使用する譲渡不可・非独占的な使用権を承諾します。

分解・改造について

- 本製品の分解、改造、および組み込まれているソフトウェアの改作は絶対に行わないでください。お客様による分解、改造、改作が行われた場合、弊社は一切の責任を負いません。
- 機器の病院ネットワークへの接続により、患者、操作者又は第三者に対して事前に特定していなかった受容できないリスクを生じる可能性があります。以下の際にはリスクの特定、分析、評価および管理をしてください。
- ・ ネットワーク構成を変更するとき
 - ・ ネットワークに機器を追加するとき
 - ・ ネットワークから機器を取り外すとき
 - ・ ネットワーク上の機器をアップデートするとき

廃棄について

- 本製品を廃棄する場合は、自治体の条例に従って廃棄処分してください。

情報セキュリティについて

- 本製品に関わる情報のセキュリティについては、お客様の自己責任の上で管理、運用をしてください。
- 有線または無線 LAN、近距離無線通信（NFC）、その他の無線技術を使用して本製品を外部接続する場合は、本質的にセキュリティに対する脆弱性を伴います。使用環境に応じた情報セキュリティ対策、および情報漏洩の保護措置を講じることはお客様の責任となりますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用環境および使用目的において、他の医療情報システムや一般情報システムとの接続や情報のやり取りを行う場合、その情報システムのセキュリティ管理者、および責任者と本製品の運用について合意を得てください。

目次

はじめに

重要なお知らせ	I
製品の用途について	I
安全について	I
商標、著作権について	I
分解・改造について	I
廃棄について	I
情報セキュリティについて	I
目次	II

1 安全上のご注意 (必ずお守りください) 1

表示の意味	1
シグナルワードについて	1
その他のお知らせ	1
禁止事項／遵守事項	2

2 機能について 4

各部の名称と機能	4
ウロチェッカー（全体）	4
表示部	5
他製品と連動する場合	6

3 ウロチェッカーの準備 7

物品を確認する	7
付属品	7
ウロチェッカーを起動する（初めて使うとき）	8
初期設定を行う	9
各種設定について	13
省電力モードについて	14

4 ウロチェッカーを 取り付ける 15

使用可能なウロバッグについて	15
使用前の点検	16
点滴スタンドに取り付ける	17

5 計測する 20

計測を開始する	20
計測画面の見方	24
共通の表示項目	24
計測周期ごとの画面切り替え	25
通知やエラーについて	25
発報時の対処	25
計測中に設定を変更する	27
計測を一時停止する／再開する	28
一時停止する	28
計測を再開する	29
計測を終了する／ウロチェッカーを取り外す	30
計測を終了する	30
ウロバッグを取り外す	31
ウロチェッカーを取り外す	32

6 各種設定の詳細 35

表示設定	35
時間設定	37
通知設定	39
ネットワーク設定	40
ヘマトチェックモジュール設定	41
メンテナンス	42
ウロロガー設定	43
設定状況	44

7 お手入れと点検 45

使用後のお手入れ（清掃）.....	45
保管上の注意	47
定期点検	48
交換部品について	49

8 困ったときは..... 51

お知らせ一覧	51
故障かな？と思ったときは.....	52

9 仕様..... 53

一般仕様	53
EMC 技術仕様.....	55
EMC（電磁両立性）とは.....	55
EMC（電磁両立性）に係わる技術的な説明.....	55
医療機器の類別・一般的名称	58
シンボル	59



メモ

Handwriting practice area with horizontal dashed lines.

表示の意味

シグナルワードについて

本製品および取扱説明書には、使用者や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく使用できるように、重要な情報を記載しています。

次の表示・図記号をよく理解してから、本書をお読みにになり、記載事項をお守りください。

表 示	説 明
 警 告	記載されていることを守らない場合、死亡または重傷を負う可能性がある潜在的に危険な状況を示しています。
禁忌・禁止	本製品の性能を超える使用、または本製品の不適正使用により、死亡または重傷を負う可能性がある絶対に行ってはいけない行為を示します。
 注 意	記載されていることを守らない場合、軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される状況を示しています。
！注 記	記載されていることを守らない場合、本製品の故障や物的損害を引き起こす状況が想定される状況を示しています。

その他のお知らせ

記 号	説 明
 メモ	知っておくと便利な機能や参考情報などを示しています。
	本書に関連する情報があるとき、参照先を示しています。

禁止事項／遵守事項



- ・必ず付属の AC 電源ケーブルを使用してください。指定外の AC 電源ケーブルを使用した場合、火災や感電により、重大な傷害を負う危険があります。
- ・本製品の AC 電源プラグやその周辺、表示部などの機器主要部に、薬液等による濡れがないかを十分に確認してください。また、薬液等のぬれを確認した場合は、AC 電源ケーブルを本製品およびコンセントから抜き、かつ電源をオフにした状態で速やかに乾いた布等でよく拭き取ってください。本製品を濡れたまま使用した場合、火災や感電により、重大な傷害を負う危険があります。
- ・AC 電源ケーブルの抜き差しを妨げになる場所に機器を置かないでください。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電により、重大な傷害を負う危険があります。
- ・AC 電源ケーブルが破損している場合は、使用しないでください。そのまま使用すると、火災により、重大な傷害を負う危険があります。
AC 電源ケーブルのお求めは、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。
- ・以下の状態を発見したときはすぐに電源をオフにし、AC 電源ケーブルをコンセントから抜いて、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。
 - 異音がする
 - 異臭がする
 - 本体から煙が出ている異常な状態のまま使用を続けると、感電や火災により、重大な傷害を負う危険があります。

禁忌・禁止

- ・可燃性麻酔ガス、活性ガスおよび高濃度酸素雰囲気内では、本製品を使用しないでください。爆発や火災により重大な傷害を負う危険があります。
- ・高圧酸素療法装置に本製品を持ち込まないでください。誤作動、破損、爆発により重大な傷害を負う危険があります。
- ・MRI 検査を行うときは、本製品を検査室に持ち込まないでください。MRI 装置への吸着による事故誘発の可能性があります大変危険です。発火、爆発などにより重大な傷害を負う危険があります。



<使用方法に関する注意>

- ・本製品は、医師や看護師、臨床工学技士など、本製品の取り扱いに熟練した医療従事者が使用してください。

！ 注 記

<併用に関する注意>

- ・電磁波および高周波を発生する機器（除細動器、電気メス等）を使用する場合は本製品に近づけず、できるだけ離れた位置で使用してください。

！注 記

＜固定・設置に関する注意＞

- 本製品は、質量計測方式にて尿量の計測を行います。
尿量の計測にあたっては、以下の点にご注意ください。
 - ウロバッグは必ずウロバッグフックに取り付けること。
 - ウロバッグの導尿チューブは必ずチューブクランプに取り付けること。
 - ウロバッグにもものが触れないこと。
 - ウロバッグの導尿チューブがウロバッグを引っ張ったり、押し込んだりしないように取り付けること。
- 本製品を点滴スタンドに取り付ける際は、指定の取付金具を用いて確実に固定し、スタンドの安定性を確認してください。

＜使用方法に関する注意＞

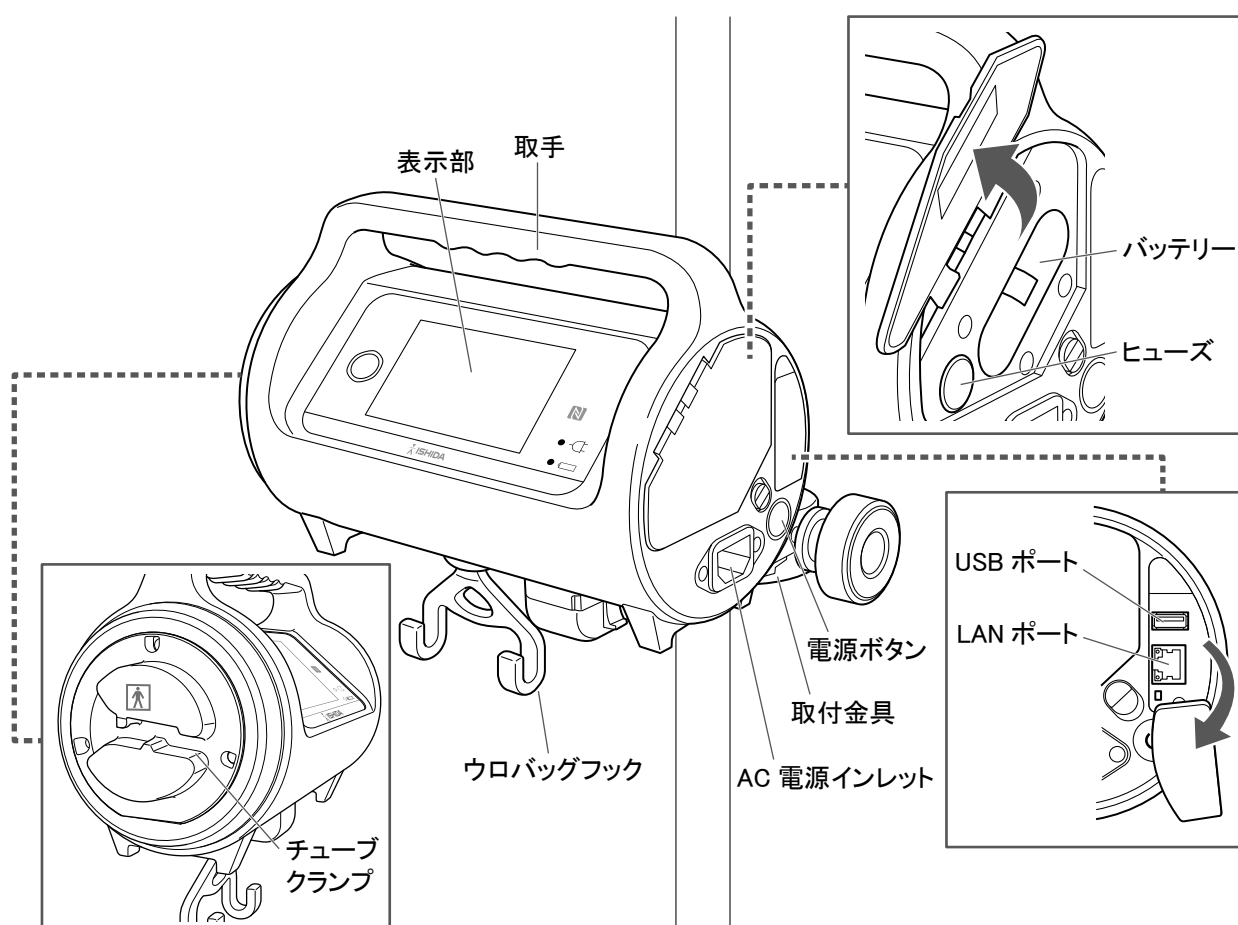
- 本製品の上に物を置かないでください。
- 点滴スタンドに本製品を固定したまま移動する際は、本製品の取手を持ったり、上から力を加えないでください。
- 本製品を固定金具から取り外して移動する際は、必ず取手を持って持ち運んでください。
また、ウロバッグフックには負荷がかからないようにしてください。
- 本製品は精密機器のため、床への落下、点滴スタンドの転倒、強くぶつけるなどによる衝撃が加えられた場合は、そのまま使用しないでください。
- 弊社指定のオプション品、付属品以外は取り付けしないでください。
- USB ポートには、バーコードリーダー以外の機器を接続しないでください。
- LAN ポートには、この機器を用いる施設のネットワークケーブル以外のケーブルを接続しないでください。
- 患者への使用中に、本製品の保守点検を行わないでください。
- 本製品に別電源から電力を供給されている機器を接続する際は、以下の点にご注意ください。
 - 患者環境で使用する場合、接続する機器は IEC60601-1 に準拠していること。
 - 患者環境外で使用する場合は、接続する機器は IEC 安全規格に準拠していること。

＜バッテリーに関する注意＞

- 定期的に点検を実施し、バッテリーに劣化がないことを確認してください。
- バッテリーを充電する際は必ず本書に記載の充電方法で実施してください。
- 本製品を長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。

各部の名称と機能

ウロチェッカー（全体）

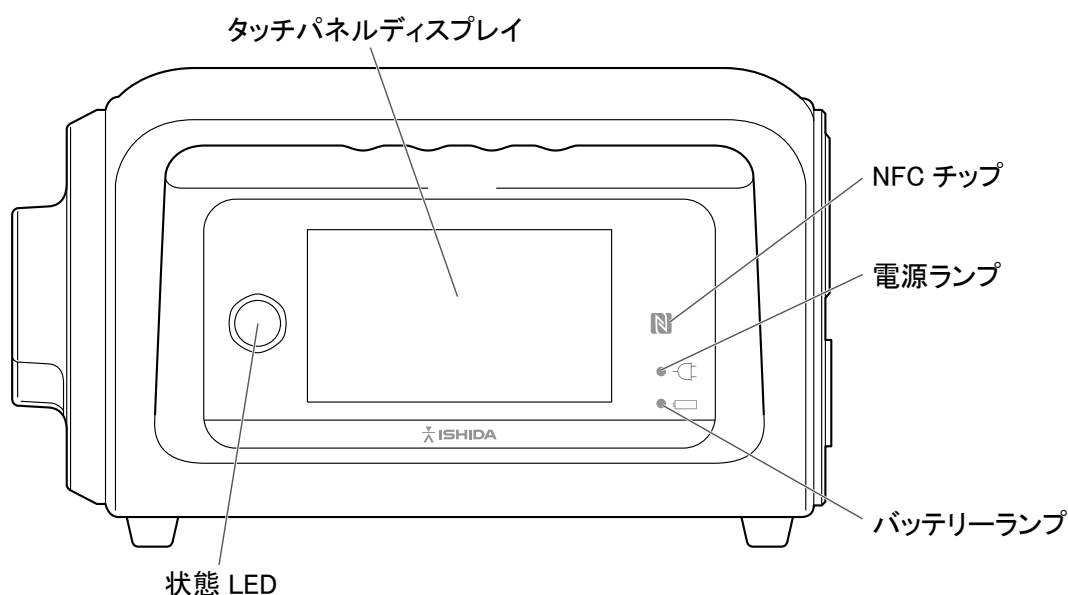


名称	機能
表示部	本製品の操作および各種表示を行います。
取手	本製品を単体で持ち運ぶときに持つ取手です。故障、破損等を防止するため、持ち運ぶときは必ず取手を持ってください。
ウロバッグフック	ウロバッグを吊るします。
取付金具	本製品を点滴スタンドに固定します。
バッテリー (およびバッテリー挿入口)	付属のバッテリーおよびバッテリーの挿入口です。
ヒューズ (およびヒューズボックス)	本製品のヒューズおよびヒューズボックスです。
USB ポート	バーコードリーダー（オプション）の接続に使用します。

名称	機能
LAN ポート	有線でネットワーク接続する場合に LAN ケーブルのコネクタを接続します。
電源ボタン	本製品の電源ボタンです。
AC 電源インレット	付属の AC 電源ケーブルを差し込み、ウロチェッカー本体に電源供給します。
チューブクランプ	ウロバッグの導尿チューブを取り付け固定します。(装着部)

表示部

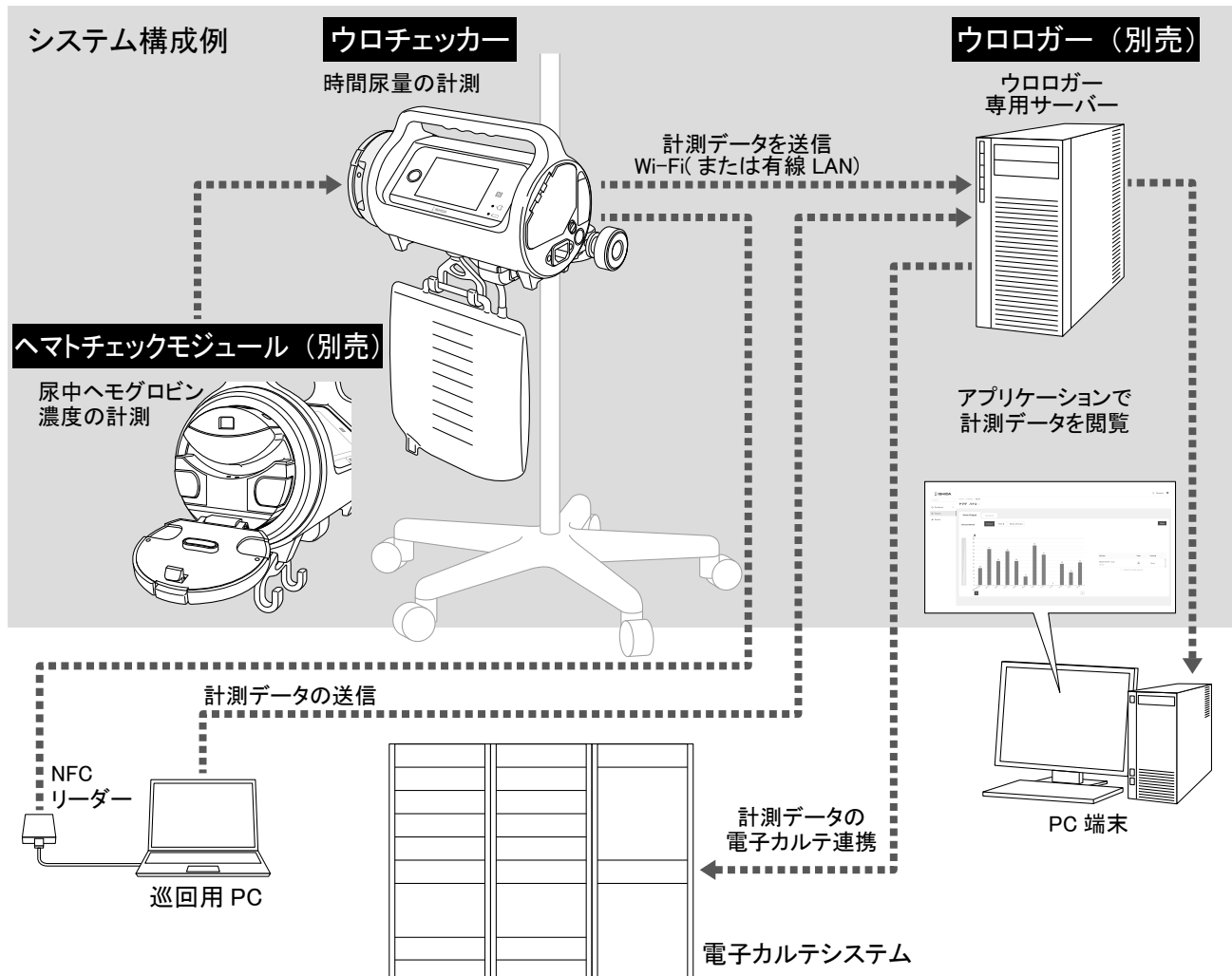
2



名称	機能
状態 LED	計測中は緑色に点灯しています。通知やエラーが発報されると緑色に点滅します。 「お知らせ一覧」📖 (p 51)
タッチパネルディスプレイ	計測値の表示や各種設定を行うタッチパネル方式のディスプレイです。 「計測画面の見方」📖 (p 24)
NFC チップ	NFC リーダーをタッチすることで本製品に記録された計測データを読み取ることができます。読み取った計測データはウロロガー（別売）で表示できます。
電源ランプ	AC 電源ケーブルで電源が供給されているときに緑色に点灯します。
バッテリーランプ	バッテリーで電源が供給されているときに緑色に点灯します。バッテリー残量が 10% 以下になると消灯します。

他製品と連動する場合

本製品にヘマトチェックモジュールを取り付けることで尿中のヘモグロビン濃度を計測することができます。また、本製品の計測データをウロロガーへ送信することで PC 端末の Web ブラウザにて遠隔で確認できます。

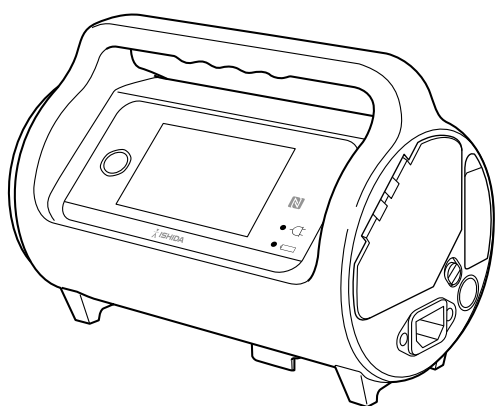


- ・ NFC リーダー、巡回用 PC、PC 端末および電子カルテシステムはこのシステムの製品構成に含まれません。
- ・ ヘマトチェックモジュールは、本製品に接続して使用します。使用方法については、ヘマトチェックモジュールの取扱説明書をご覧ください。

物品を確認する

付属品

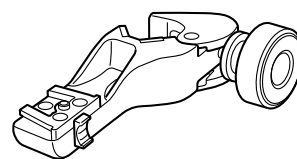
以下の物品が揃っていることを確認してください。万一、欠品や破損がある場合は、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。



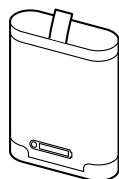
ウロチェッカー（本体）×1



ウロバッグフック ×1



取付金具 ×1



バッテリー ×1



AC 電源ケーブル ×1



取扱説明書 ×1

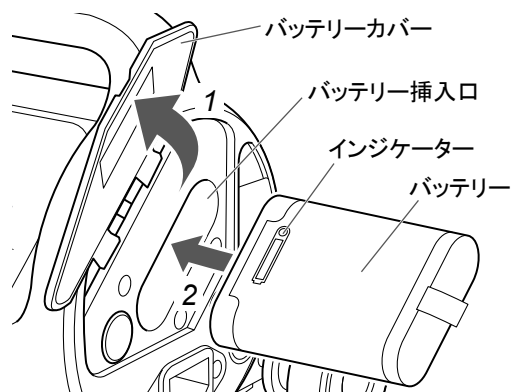
ウロチェッカーを起動する（初めて使うとき）

本製品を使用するには、バッテリーの装着や計測のための初期設定など、最初に準備しておく必要があります。ここではバッテリーの装着および電源投入について説明します。

1. バッテリーカバーを開けます。

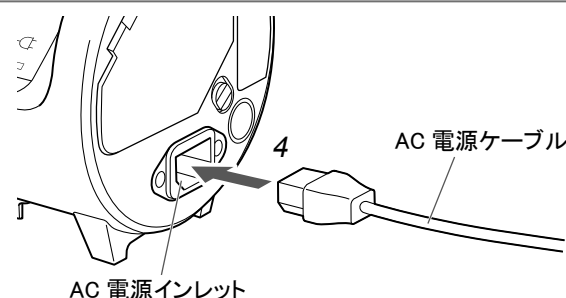
2. バッテリーをバッテリー挿入口にセットします。

- ・バッテリーのインジケーターが、本製品の表示部側になる向きとなるよう挿入してください。

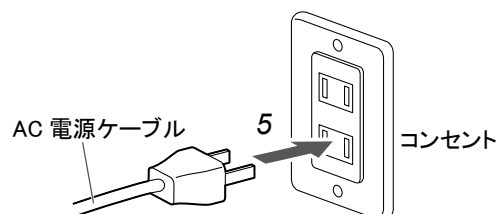


3. バッテリーカバーを閉じます。

4. AC 電源ケーブルをウロチェッカー本体の AC 電源インレットに差し込みます。



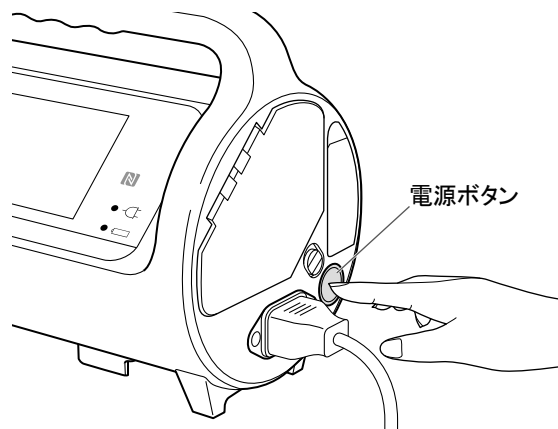
5. AC 電源ケーブルのコネクタをコンセントに差し込みます。



メモ コンセントに繋げることでバッテリーが充電されます。バッテリー残量がない状態から充電完了まで6時間程度を要します。

6. 電源ボタンを長押しします。

- ➡ 本製品に電源が投入され、タッチパネルディスプレイに初期設定画面が表示されます。



メモ

- ・本製品に初めて電源を投入したとき、初期設定画面が表示されます。☞ (p 9)
- ・初期設定が完了すると、次回からは計測準備画面が表示されるようになります。

初期設定を行う

本製品に初めて電源を投入したとき、初期設定画面が表示されます。初期設定では、言語、PIN コード、時刻、およびウロロガーとの連携をセットアップします。

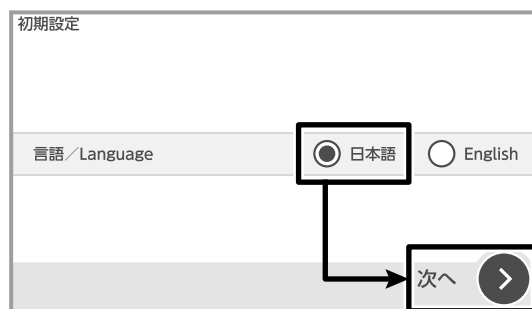


- 言語および PIN コードは、計測前や計測中に設定を変更することはできません。これらの設定を変更する場合は、メンテナンス設定画面で本製品を初期化してください。☞ (p 42)
- 初期設定が完了すると、次回からは計測準備画面が表示されるようになります。

1. 使用する言語を選択します。

- 「日本語」と「English」のいずれかを選択し、「次へ」をタップしてください。

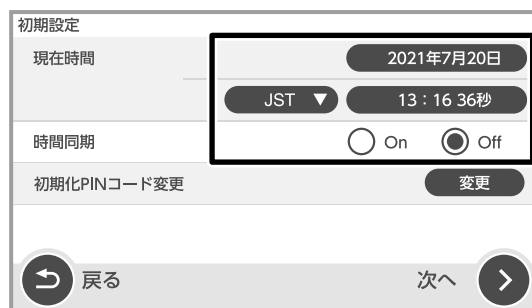
➡ 初期設定一覧の画面に切り替わります。



3

2. 現在の時刻を設定します。

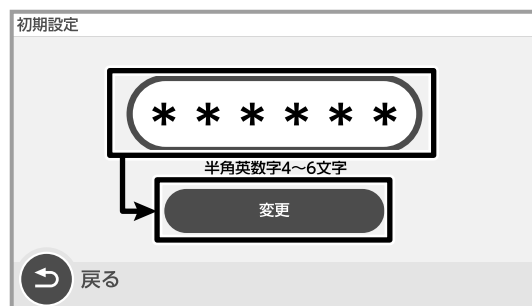
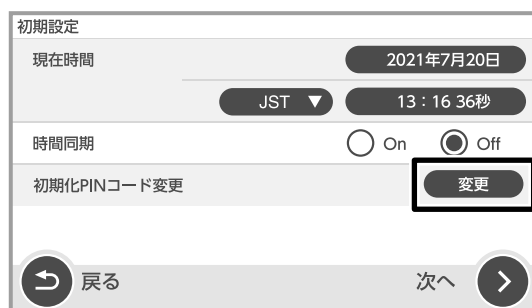
- 入力エリアをタップし、キーボードで現在の時刻を入力してください。
- 時間同期を「On」に設定した場合、現在時間はウロロガーの時間と同期します。



3. 初期化するときの PIN コードを変更します。

- 「変更」をタップし、キーボードで PIN コードを設定してください（半角英数字 4 ～ 6 文字）。PIN コードを変更しない場合、初期値は「000000」です。
- 入力が終わったら「変更」をタップして元の画面に戻ってください。
- 手順 2 ～ 3 の設定が終わったら「次へ」をタップしてください。

➡ ウロロガー設定画面に切り替わります。

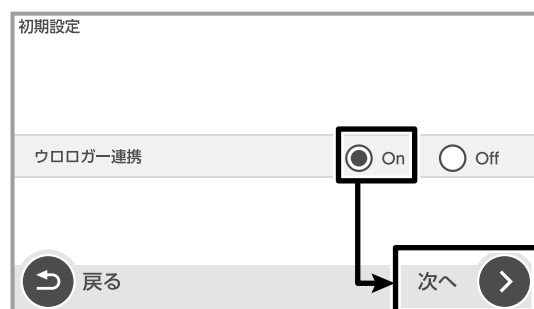


4. ウロロガーとの連携の有無を選択します。

- [On] または [Off] を選択してください。
- ➡ [Off] を選択した場合：[終了] をタップしてください。初期設定は以上です。計測準備画面に切り替わります。

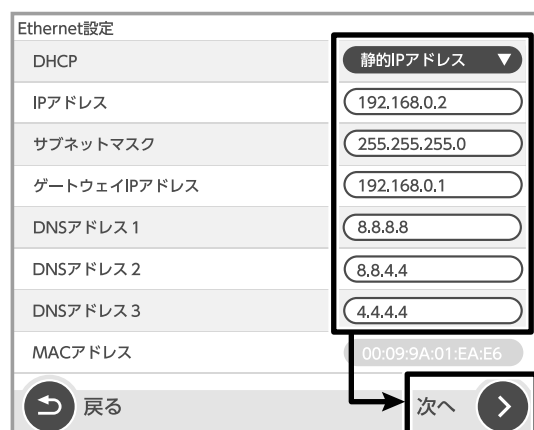


- ➡ [On] を選択した場合：[次へ] をタップしてください。ウロロガーのネットワーク設定に切り替わります。次の手順に進んでください。



5. 有線 LAN 接続の設定をします。

- DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレス、DNS アドレスを設定してください。それぞれの入力エリアをタップするとキーボードが表示されます。設定する値はネットワーク管理者（医療情報担当者）に確認してください。
- 入力が終わったら [次へ] をタップしてください。
- ➡ Wi-Fi のセキュリティ設定に切り替わります。



6. Wi-Fi のセキュリティ設定および接続確認をします。

- (1) SSID
接続したいネットワーク名を入力してください。
- (2) セキュリティ
[Open]、[WPA2-Personal]、または [WPA2-Enterprise] から選択してください。
- (3) パスワード
必要に応じてパスワードを入力してください。
- (4) 接続確認
[接続] をタップするとアクセスポイントへの接続確認を行います。

- ・ 設定する値はネットワーク管理者（医療情報担当者）に確認してください。
 - ・ 入力が終わったら [次へ] をタップしてください。
- ➡ Wi-Fi の接続設定に切り替わります。



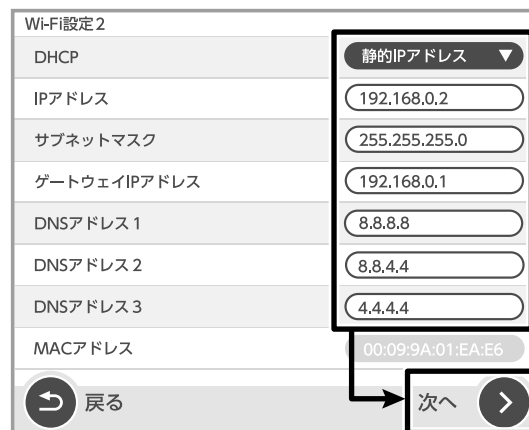
Wi-Fi設定 1

SSID	(1)	ishidamedical
セキュリティ	(2)	WPA2-Personal
パスワード	(3)	*****
接続確認	(4)	接続

戻る 次へ

7. Wi-Fi の接続設定をします。

- ・ DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレス、DNS アドレスを設定してください。それぞれの入力エリアをタップするとキーボードが表示されます。設定する値はネットワーク管理者（医療情報担当者）に確認してください。
 - ・ 入力が終わったら [次へ] をタップしてください。
- ➡ ウロロガーの接続設定に切り替わります。



Wi-Fi設定 2

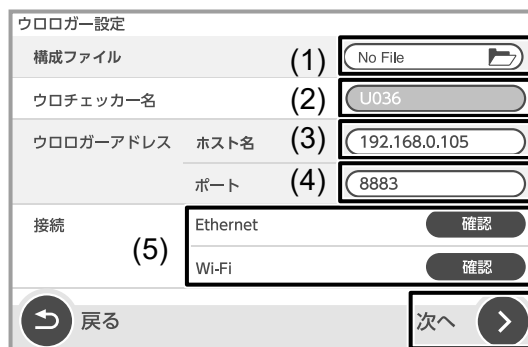
DHCP	静的IPアドレス
IPアドレス	192.168.0.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイIPアドレス	192.168.0.1
DNSアドレス1	8.8.8.8
DNSアドレス2	8.8.4.4
DNSアドレス3	4.4.4.4
MACアドレス	00:09:9A:01:EA:E6

戻る 次へ

8. ウロロガーへの接続設定をします。

- (1) 構成ファイル
ウロロガーから認証データを発行し、USB メモリにてインストールしてください。
- (2) ウロチェッカー名
ウロロガーでの認証設定で登録した名称が表示されます。
- (3) ウロロガー IP アドレス
ウロロガーの IP アドレスを入力してください。
- (4) ポート
ウロロガーのポートを入力してください。
- (5) 接続
[確認] をタップするとウロロガーとの接続確認をします。

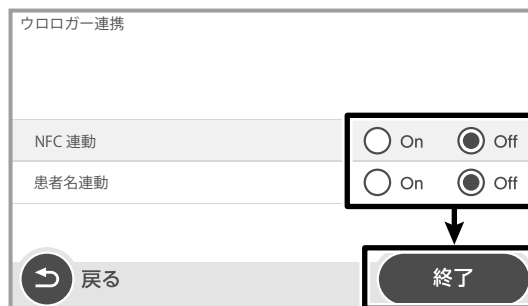
- ・ 設定する値はネットワーク管理者（医療情報担当者）に確認してください。
- ・ 入力が終わったら [次へ] をタップしてください。
- ➡ ウロロガーの NFC 連動設定に切り替わります。



ウロロガー設定	
構成ファイル	(1) No File
ウロチェッカー名	(2) U036
ウロロガーアドレス	(3) 192.168.0.105
ポート	(4) 8883
接続	(5) Ethernet Wi-Fi

9. ウロロガーとの連携設定をします。

- ・ NFC 連動を行うかどうかを [On] または [Off] から選択してください。
- ・ 患者名連動を行うかどうかを [On] または [Off] から選択してください。
- ・ 入力が終わったら [終了] をタップしてください。
- ➡ 初期設定は以上です。計測準備画面に切り替わります。



ウロロガー連携	
NFC 連動	☐ On ☒ Off
患者名連動	☐ On ☒ Off



計測準備	
患者情報入力	
バグを吊り下げ チューブをクランプしてから 計測を開始してください	
0	計測開始
設定	省電力モード

各種設定について

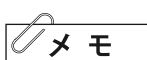
初期設定の他、主に計測に関わる各種設定があります。計測を始める前に、計測準備画面左下の「設定」をタップし、設定内容の確認や変更をしてください。



■ 各種設定の一覧

各種設定の多くは計測中にも設定変更できますが、一部、計測中には設定変更できない項目（モジュール接続や現在時刻など）も含まれています。本製品で計測を始める前に、必ず全ての設定項目について確認・変更をしてください。

設定項目	説明
表示設定	計測画面の表示方法を設定します。
時間設定	現在の時刻および計測時間を設定します。
通知設定	乏尿、多尿、ウロバッグ充满、および一時停止の通知に関する設定をします。
ネットワーク設定	Wi-Fi 及び Ethernet の On / Off を切り替えます。初期設定にてウロロガー連携が On の場合のみボタンが表示されます。
ヘマトチェックモジュール	尿中ヘモグロビン濃度計測に関する各種設定を行います。ヘマトチェックモジュールを接続する場合にのみ必要となる設定です。
メンテナンス	本製品のメンテナンスに関わる項目を設定します。
ウロロガー	ウロロガーと連携するかどうかを On / Off で切り替えます。初期設定にてウロロガー連携が On の場合のみボタンが表示されます。
設定状況	現在の設定状況を一覧で表示します。

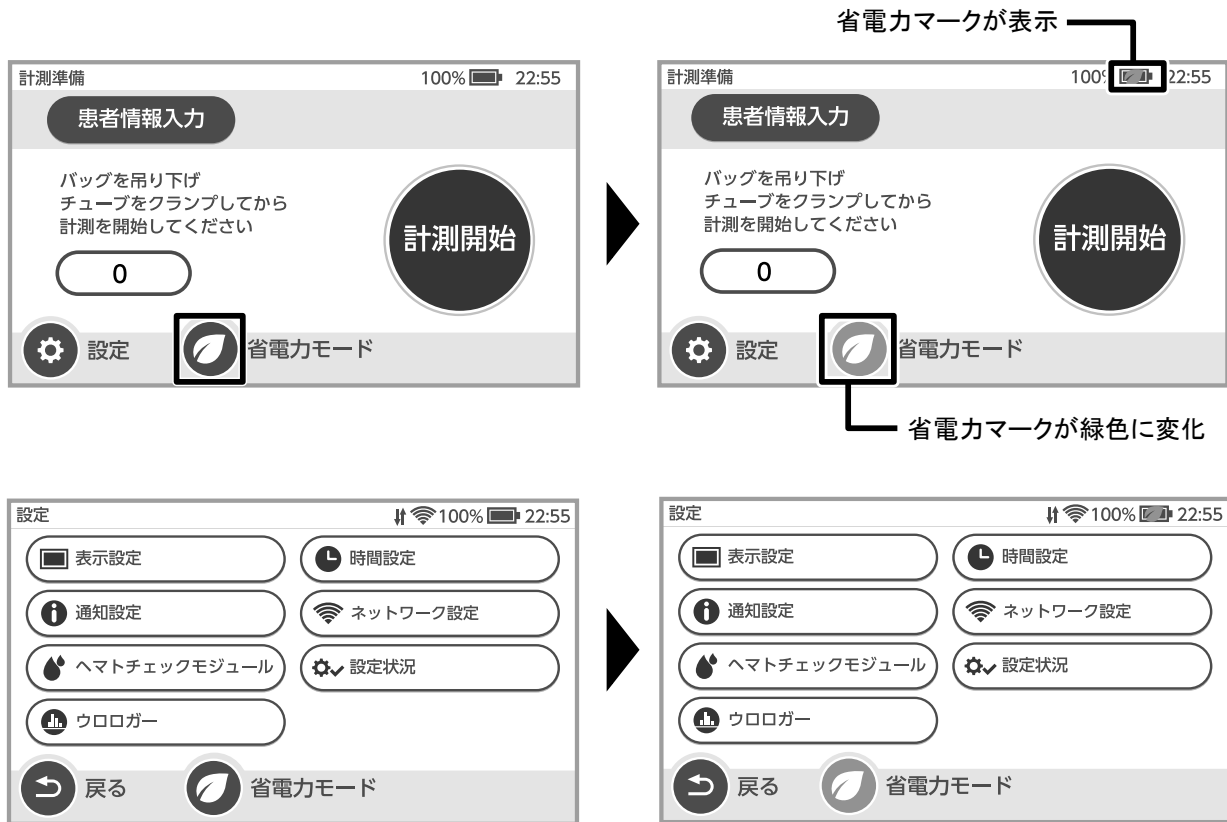


メモ

- 各種設定の詳細については、「6 各種設定の詳細」(p 35) をご覧ください。
- ヘマトチェックモジュールを用いて尿中ヘモグロビン濃度計測をする場合は、ヘマトチェックモジュールの取扱説明書を参照して、接続設定をしてください。
☞「3. ヘマトチェックモジュールの準備」－「ヘマトチェックモジュールの設定について」

省電力モードについて

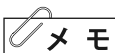
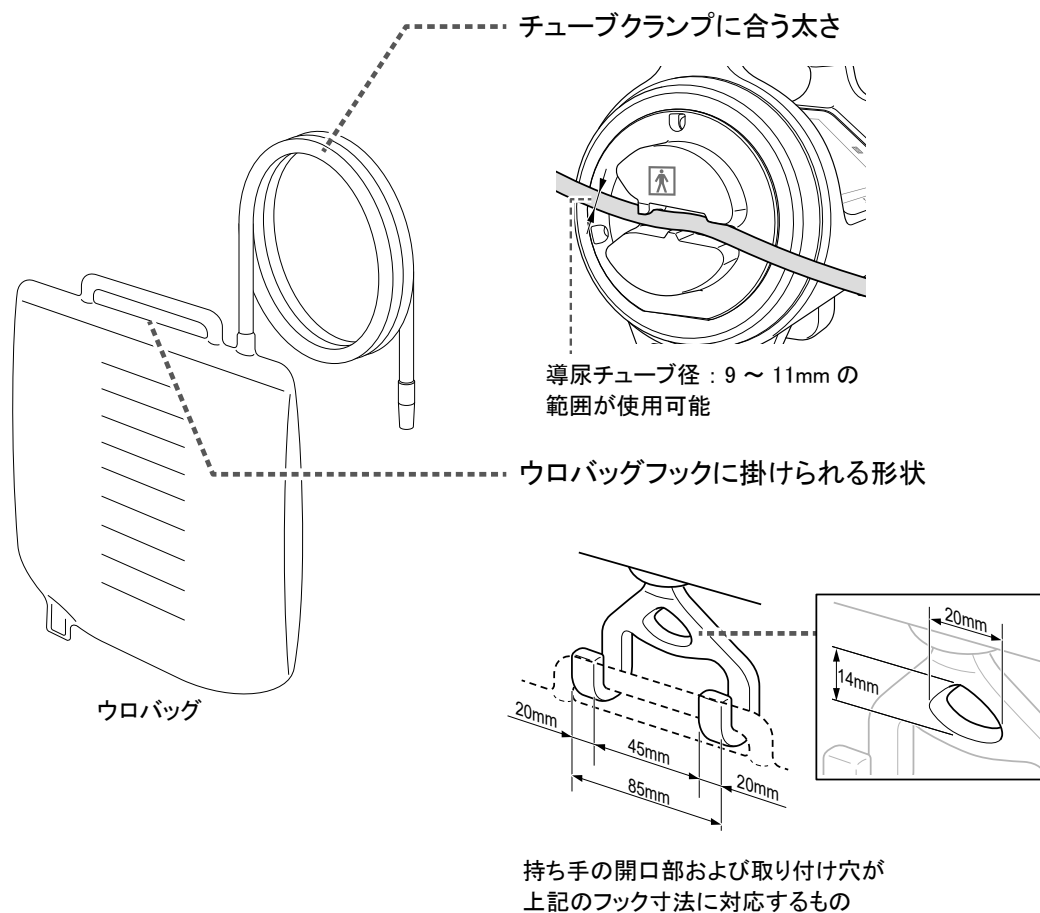
本製品には、バッテリーの消費を抑える「省電力モード」が備わっています。計測準備画面または計測中の設定画面で「省電力モード」をタップすると、この機能がオンになります。



メモ 省電力モードでは、画面のバックライトが暗くなります。

使用可能なウロバッグについて

本製品は市販されている様々なウロバッグに対応していますが、使用するにあたっては、以下の条件を満たしているウロバッグをご用意いただく必要があります。



メモ

現在市販されているほとんどのウロバッグが使用可能です。
(代表例) メディコン社、テルモ社、ニプロ社、ムトウ社、クリエートメディック社

使用前の点検

本製品を使用する前に、以下の点検を実施してください。

点検箇所	点検内容と対処
ウロチェッカー本体および付属品の全般	必要な物品は揃っていますか？ 以下の物品が揃っていることを確認してください。 ウロチェッカー本体、AC 電源ケーブル、バッテリー、取付金具、ウロバッグフック
	清潔な状態が保たれていますか？ 汚れや薬品等の付着がある場合は清掃してください。 「使用後のお手入れ（清掃）」🔗（p 45）
	破損している箇所はありませんか？ 使用に耐えない破損がある場合は、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。
バッテリー残量	バッテリーの残量は十分ですか？ ウロチェッカー本体にバッテリーを入れた状態で本製品の電源をオンにし、バッテリーの充電残量を確認してください。 電源供給をバッテリーのみで行う場合は、満充電されている状態で使用を開始してください。 「ウロチェッカーを起動する（初めて使うとき）」🔗（p 8）

点滴スタンドに取り付ける

本製品を点滴スタンドに取り付ける手順を説明します。

1. ウロチェッカー本体と付属品、およびウロバッグを準備します。

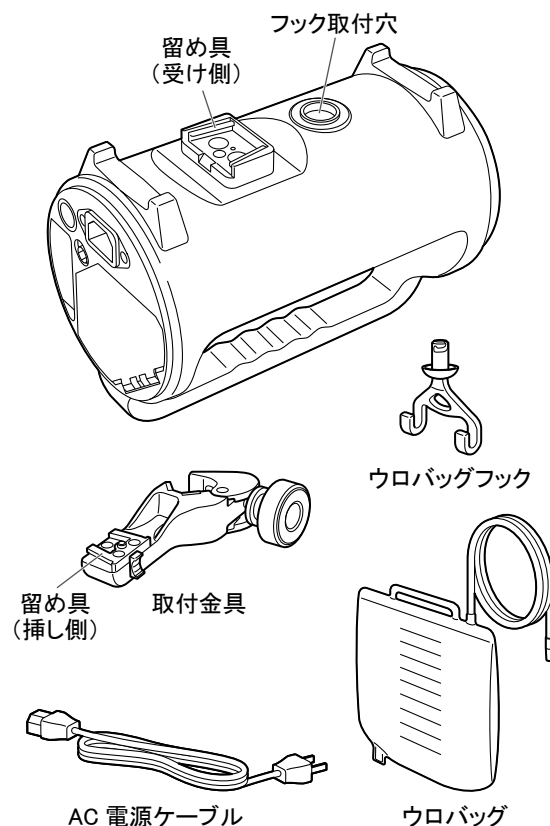
！注記

使用前点検の実施により、清潔で破損等が無い状態であることを事前に確認しておいてください。

メモ

バッテリーが挿入されていることを確認してください。
☞ (p 8)

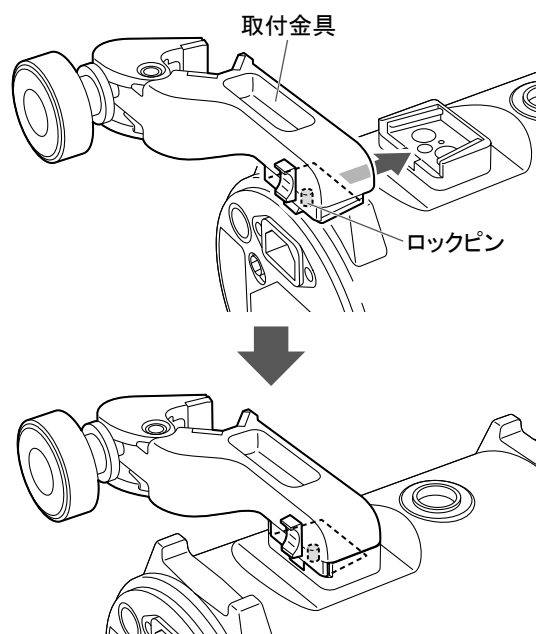
ウロチェッカー本体（底面）



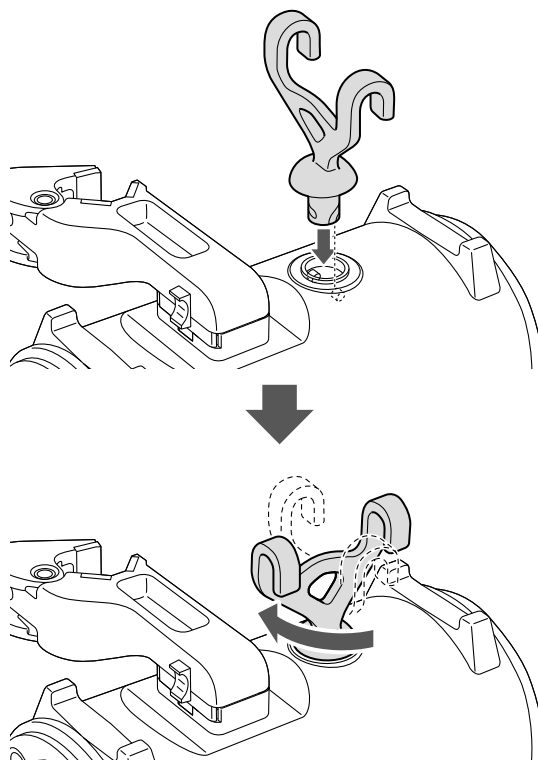
4

2. ウロチェッカー本体底部の留め具（受け側）に対し、取付金具の留め具（挿し側）をスライドさせてはめ込みます。

- ・ 留め具（受け側）の奥までしっかりと差し込んでください。
- ➡ 取付金具がロックピンにはまると、“カチツ”と音が鳴ります。



- 3.** ウロバッグフックをウロチェッカー本体底部のフック取付穴の奥まで差し込み、時計方向に 90°回して固定します。



- 4.** 本製品を取り付ける点滴スタンドを用意します。

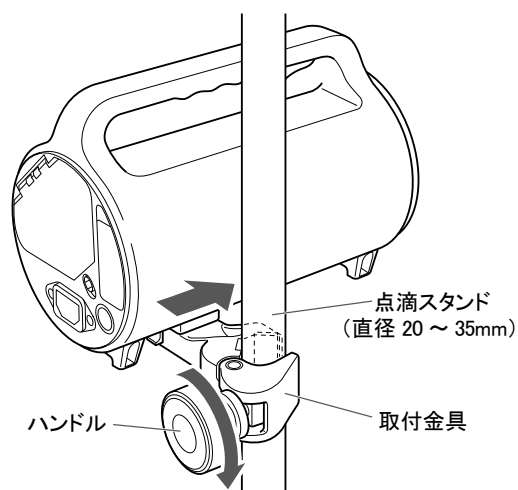
- ・ 点滴スタンドにぐらつきがなく、安定していることを確認してください。

！注記

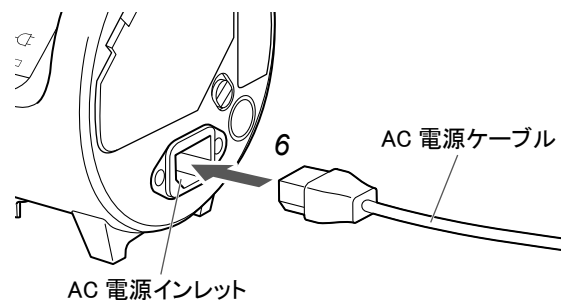
取付金具は直径 20~35mm のポールに取り付けることができます。適用範囲外のポールに取り付けると、本製品が落下し、破損するおそれがあります。必ず、適用範囲内のポール径をもつ点滴スタンドを使用してください。

- 5.** 取付金具のクランプ部で点滴スタンドを挟み、ハンドルを回して締めます。

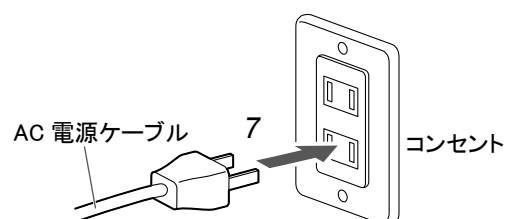
- ・ 取付金具がぐらつかないよう、しっかりと固定してください。



6. AC 電源ケーブルをウロチェッカー本体の AC 電源インレットに差し込みます。

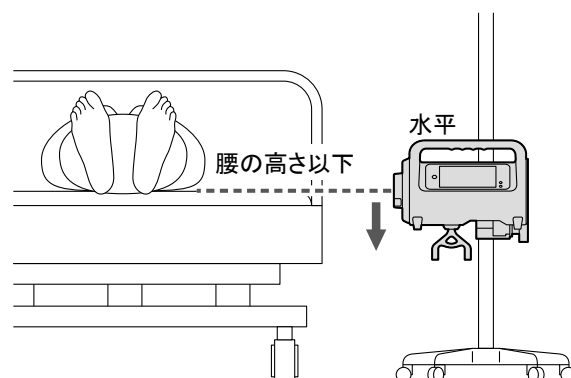


7. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



8. 本製品の設置状態を確認します。

- ウロバッグを取り付けた時に、チューブクランプが患者の腰位置より低くなっていること、およびウロバッグが床に着かないことを確認してください。
- 本製品が水平になっていることを確認してください。
- 本製品がぐらつかず、点滴スタンドごと安定していることを確認してください。



⚠ 注意

対象となる患者の腰の位置より、チューブクランプの高さが下になるように設置してください。誤って腰の位置より高く設置すると、尿の逆流や尿流の停滞が起こるおそれがあります。

計測を開始する

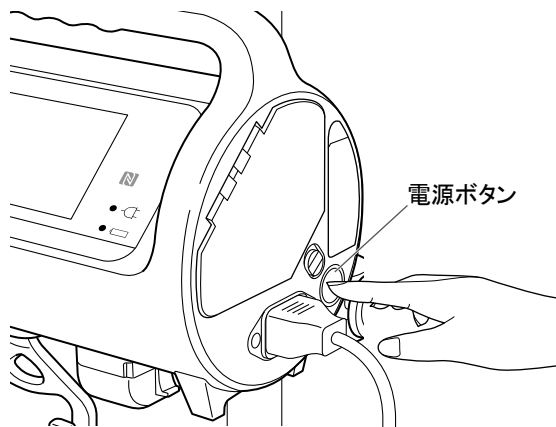
計測前設定と本製品の取り付けが完了したら、計測を開始できます。ここでは計測開始手順を説明します。

1. 電源ボタンを長押しします。

- ▶ 計測準備画面が表示されます。
- ・ バッテリーの充電が十分されているか確認してください。



本製品の初期設定がまだ完了していない場合、画面には初期設定画面が表示されます。☞ (p 9)



2. 質量センサーの動作確認をします。

- ・ 質量センサーの計測値が変化し戻ることを確認してください。

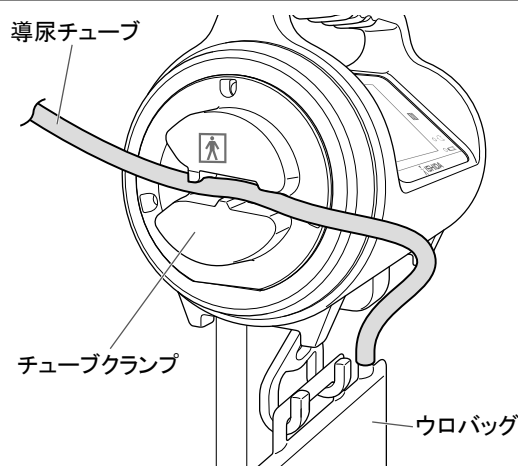


3. ウロバッグフックにウロバッグを吊り下げます。

- ・ ウロバッグに点滴スタンドの脚部やポール、ベッドや床などが接触していないことを確認してください。

4. チューブクランプに導尿チューブを取り付けます。

- ・ 導尿チューブが引っ張られないよう、多少のたるみをもたせてください。
- ・ 導尿チューブが折れていないことを確認してください。



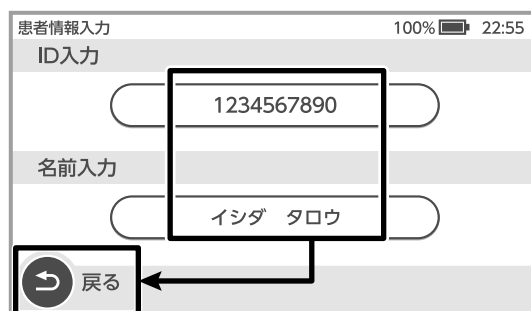
5. 必要に応じて患者情報（患者 ID / 氏名）を入力します。

- [患者情報入力] をタップし、ディスプレイ上のソフトウェアキーボードで患者 ID および氏名を入力してください。
- 入力が完了したら、[戻る] をタップして計測準備画面に戻ってください。
- 患者情報を入力しなくても計測できます。



メモ

オプションのバーコードリーダーを取り付けることで、患者 ID を患者のバーコードから入力することができます。

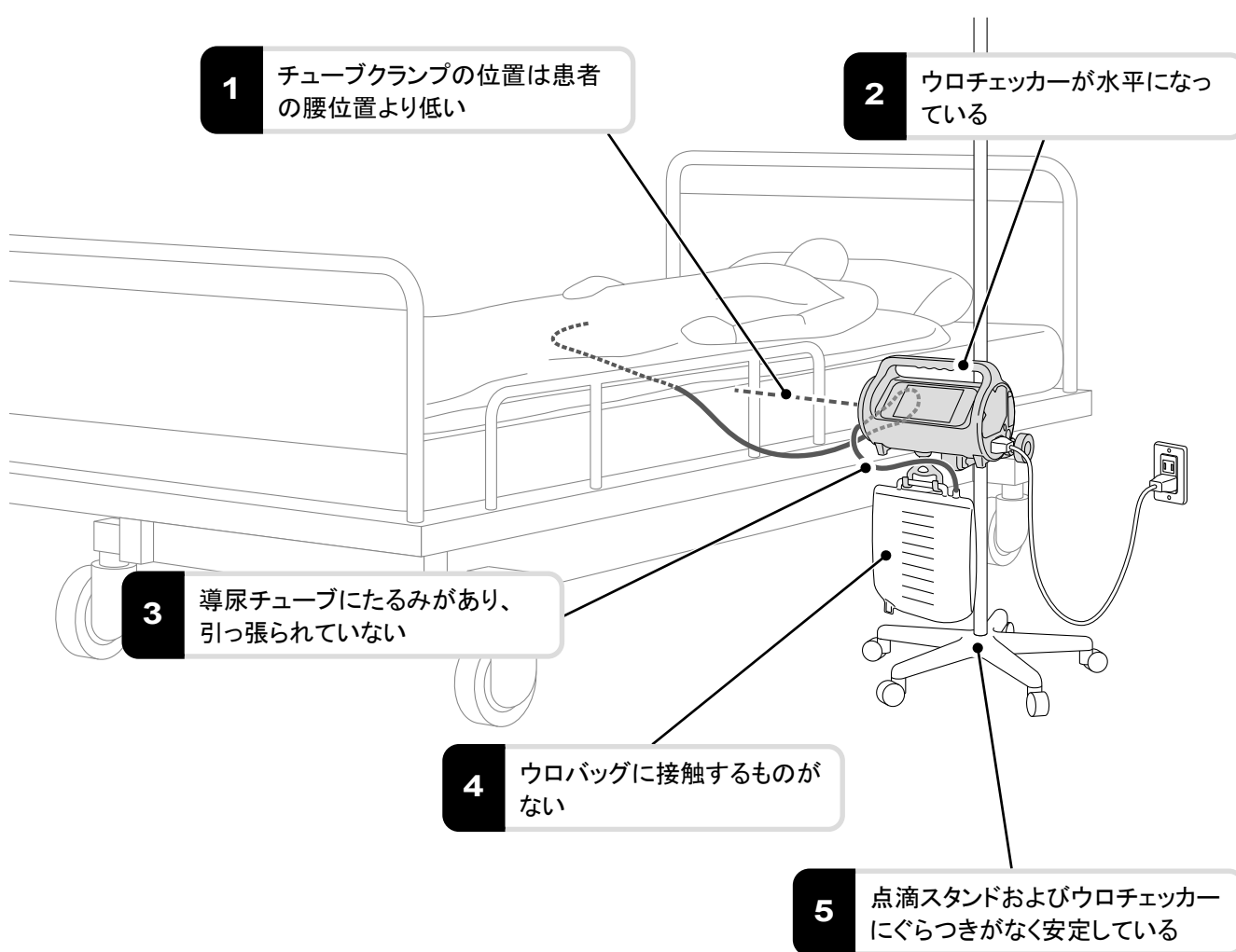


5

6. 計測を始める前に、正しく設置されていることを確認します。

注意

設置点検を必ず実施し、正しく設置されていることを確認してから計測を始めてください。

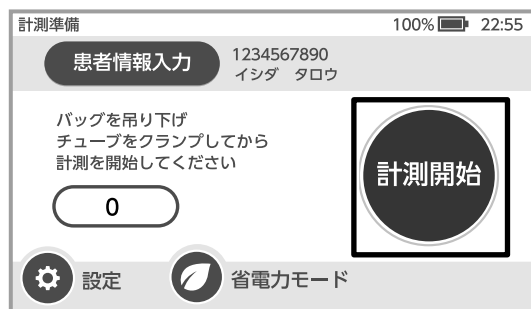


7. 「計測開始」をタップします。

➡ 計測画面に切り替わり、計測が始まります。

メモ

- ・ 計測を開始すると自動で風袋引きを行います。
- ・ バッテリーのみで運用する場合は画面上のバッテリー残量を確認し、満充電になっていることを確認してください。満充電されていない場合は AC 電源ケーブルを接続して満充電の状態にしてから使用してください。
- ・ 計測画面の操作方法や表示方法については「計測画面の見方」➡ (p 24) をご覧ください。
- ・ 必要に応じて計測中に設定を変更できます。設定できる項目や設定内容については、「計測中に設定を変更する」➡ (p 27) をご覧ください。

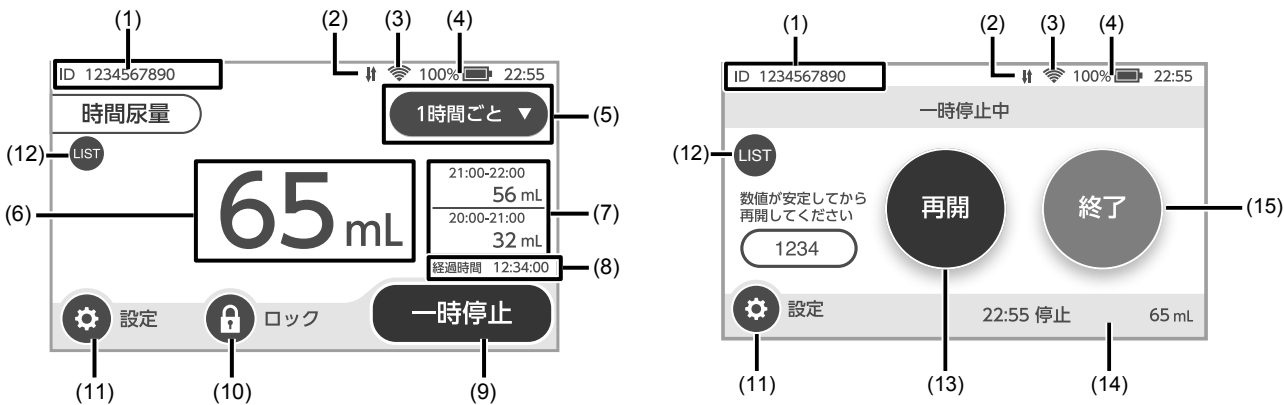


計測画面の見方

計測中は計測画面が表示されます。ここでは、計測画面の表示内容や画面遷移について説明します。

共通の表示項目

計測画面で共通する表示項目について説明します。



No.	ボタン名／表示名	説明
(1)	患者情報表示 (患者 ID / 氏名)	計測開始前に登録した患者 ID または氏名が表示されます。表示する情報は表示設定画面で選択できます。🔗 (p 35)
(2)	ウロロガー接続表示	ウロロガー連携を有効にしている場合、ウロロガーとの通信状況がアイコン表示されます。
(3)	ネットワーク接続表示	Wi-Fi で通信している場合、無線通信の受信感度がアイコン表示されます。 有線 LAN で通信している場合は、LAN マーク (📶) が表示されます。
(4)	バッテリー残量表示	バッテリーの残量がゲージと数値 (%) で表示されます。 省電力モードがオンのときは、バッテリーアイコンの上に省電力モードのマーク (🔋) が表示されます。 「省電力モードについて」🔗 (p 14)
(5)	画面切替ボタン	プルダウン選択すると、異なる計測周期における計測結果の画面に切り替わります。 画面遷移の詳細については、「計測周期ごとの画面切り替え」🔗 (p 25) をご覧ください。
(6)	計測結果 (最新)	最新の計測結果が表示されます。画面切替ボタン (5) をタップすると、異なる周期での計測結果が表示されます。
(7)	計測結果 (過去 2 回)	過去 2 回分の計測結果が表示されます。画面切替ボタン (5) をタップすると、異なる周期での計測結果が表示されます。
(8)	経過時間	計測を開始してからの経過時間を表示します。
(9)	[一時停止] ボタン	計測を一時停止または終了するときにこのボタンをタップします。操作方法の詳細については以下をご覧ください。 「計測を一時停止する／再開する」🔗 (p 28) 「計測を終了する／ウロチェッカーを取り外す」🔗 (p 30)
(10)	[ロック] ボタン	このボタンを 2 秒以上長押しすると、表示されている画面をロックできます。ロック中は、ロック解除以外の画面操作はできません。ロック解除ボタンを 2 秒以上長押しすると、画面ロックを解除できます。
(11)	[設定] ボタン	このボタンをタップすると、計測中に設定可能なメニューが表示されます。設定可能なメニューについては「計測中に設定を変更する」🔗 (p 27) を参照してください。
(12)	[LIST] ボタン	このボタンをタップすると、履歴画面が表示し時間尿量の履歴がリストとして表示されます。履歴画面中に計測周期を跨ぐと、自動で画面更新し計測値が反映されます。

No.	ボタン名／表示名	説明
(13)	[再開] ボタン	このボタンをタップすると、計測が再開されます。
(14)	計測結果（一時停止時）	計測を一時停止した時の計測値と時刻が表示されます。
(15)	[終了] ボタン	このボタンをタップすると、計測が終了します。

計測周期ごとの画面切り替え

事前に設定した計測周期の単位で計測画面を切り替えることができます。画面切替ボタンを押し、時間間隔をプルダウンから選択して表示を切り替えてください。



- ・24 時間間隔以外の 2 種類の計測周期は変更することができます。
「時間設定」☞ (p 37)
- ・時間 A の履歴は最大 72 件まで表示可能です。◀▶ ボタンを押すことで表示ページを切り替えることができます。時間 B 及び時間 C の履歴は最大 12 件まで表示することができます。



通知やエラーについて

計測中や計測準備中にエラーが発生したり、通知設定が作動すると、画面上にメッセージがポップアップ表示され、本体の状態 LED 表示やブザー音でお知らせします。

発報時の対処

通知やエラーが発生すると、繰り返しブザー音が鳴り、LED が緑色に点滅します。以下の対処をしてください。

1. メッセージを確認し、画面上の【確認】をタップします。
 - ➡ ブザー音が止まり、元の画面に戻ります。
 - ➡ メッセージは画面上部に表示されます。
 - ➡ 状態 LED 表示（緑色）が点滅から点灯に変わります。

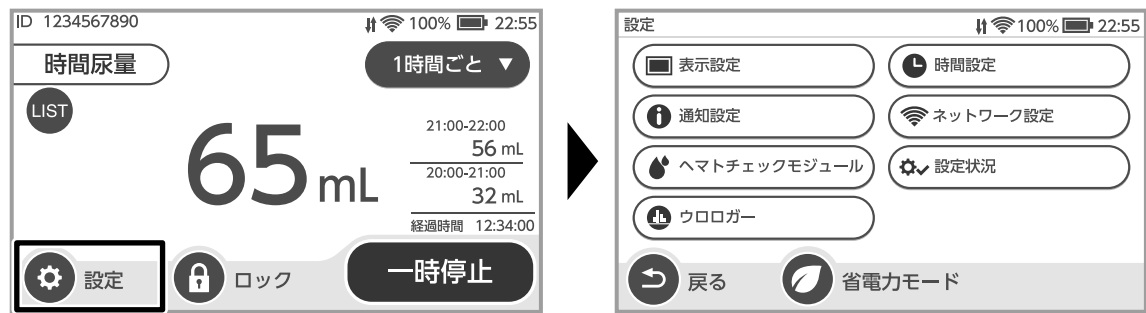


2. 表示されたメッセージの内容に応じて、原因を除去します。
 - ・ 表示内容や発報条件・対処方法については「お知らせ一覧」📄 (p 51) をご覧ください。
 - ➡ 原因が除去されると、元の画面に戻ります。



計測中に設定を変更する

計測中に一部の設定内容を変更することができます。計測画面左下の[設定]をタップして設定画面を表示させ、変更したい設定項目を選択してください。



■ 各種設定の一覧

設定項目	説明
表示設定	計測画面の表示方法を設定します。
通知設定	乏尿、多尿、ウロバッグ充满、および一時停止の通知に関する設定をします。
ネットワーク設定	Wi-Fi 及び Ethernet の On / Off を切り替えます。初期設定にてウロロガー連携が On の場合のみボタンが表示されます。
ヘマトチェックモジュール	尿中ヘモグロビン濃度計測に関する各種設定を行います。ヘマトチェックモジュールを接続する場合にのみ必要となる設定です。
ウロロガー	ウロロガーと連携するかどうかを On / Off で切り替えます。初期設定にてウロロガー連携が On の場合のみボタンが表示されます。
設定状況	現在の設定状況を一覧で表示します。



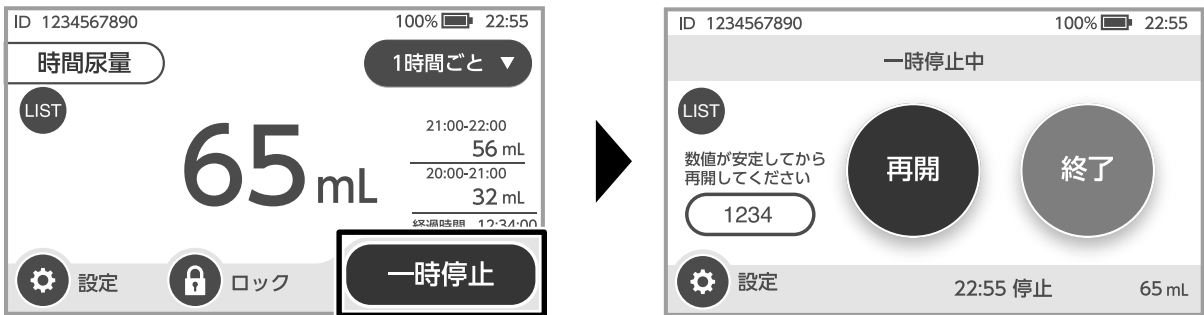
- ・「表示設定」の一部は、計測中に変更できない項目があります。
- ・各種設定の詳細については、「6 各種設定の詳細」 (p 35) をご覧ください。
- ・ヘマトチェックモジュールを用いて尿中ヘモグロビン濃度計測をする場合は、ヘマトチェックモジュールの取扱説明書を参照して、接続設定をオンにしてください。
☞「3. ヘマトチェックモジュールの準備」－「ヘマトチェックモジュールの設定について」

計測を一時停止する／再開する

ウロバッグから尿を排出する場合は、計測を一時停止する必要があります。一時停止中のウロバッグの重さの変化は計測されません。

一時停止する

- 【一時停止】をタップします。
- ▶ 一時停止画面に切り替わり、計測が一時停止状態になります。



一時停止画面の見え方



No.	ボタン名／表示名	説明
(1)	停止	【一時停止】をタップした時の測定値と時刻が表示されます。

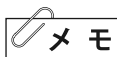


- ・ 一時停止中の他の項目の見え方は「共通の表示項目」(p 24, p 25)をご覧ください。
- ・ 一時停止状態が一定の時間を超過すると、一時停止通知が発報されます。
設定方法の詳細については、「通知設定」(p 39)をご覧ください。

計測を再開する

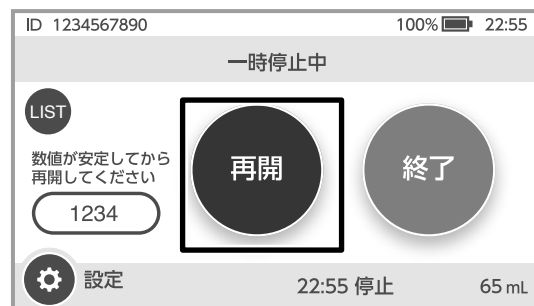
1. 一時停止中画面の「再開」をタップします。

➡ 計測画面に戻り、計測が再開されます。



メモ

数値が安定してから計測を再開してください。



5

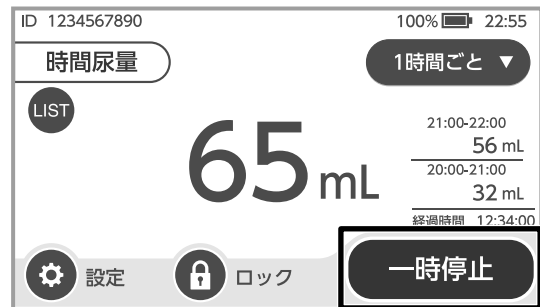
計測を終了する／ウロチェッカーを取り外す

ここでは本製品の計測終了方法、およびウロバッグや本製品の取り外しについて説明します。

計測を終了する

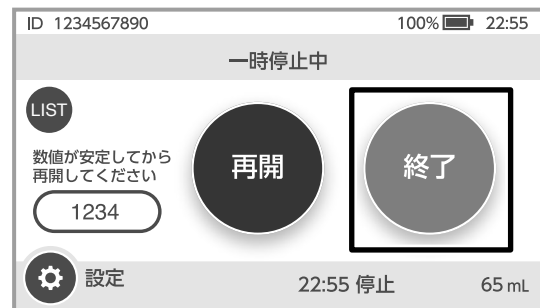
1. [一時停止] をタップします。

- ▶ 一時停止を確認するダイアログが表示されます。



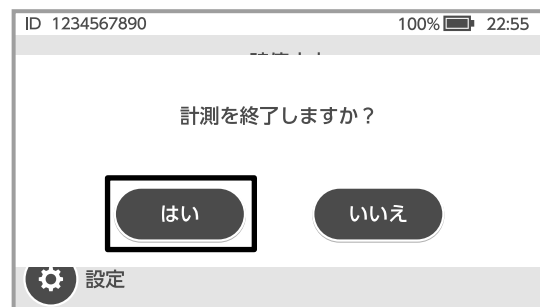
2. [終了] を押します。

- ▶ 終了を確認するダイアログが表示されます。



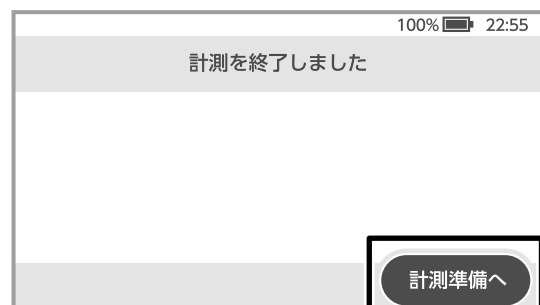
3. [はい] をタップします。

- ▶ 画面が切り替わり、「計測を終了しました」と表示されます。
- [いいえ] をタップすると終了操作がキャンセルされ、元の画面（一時停止中）に戻ります。計測を再開する場合は、[再開] をタップしてください。



4. [計測準備へ] をタップします。

- ▶ 計測準備画面に切り替わります。



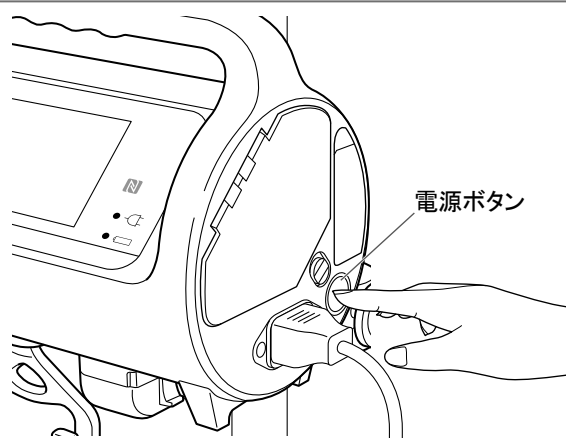
ウロバッグを取り外す

1. チューブクランプから導尿チューブを外します。

2. ウロバッグフックからウロバッグを取り外します。

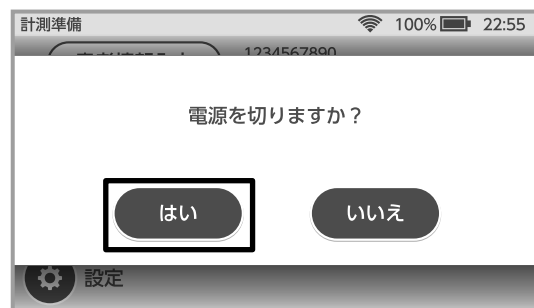
3. 電源ボタンを 3 秒以上長押しします。

➡ 画面に「電源を切りますか？」と表示されます。



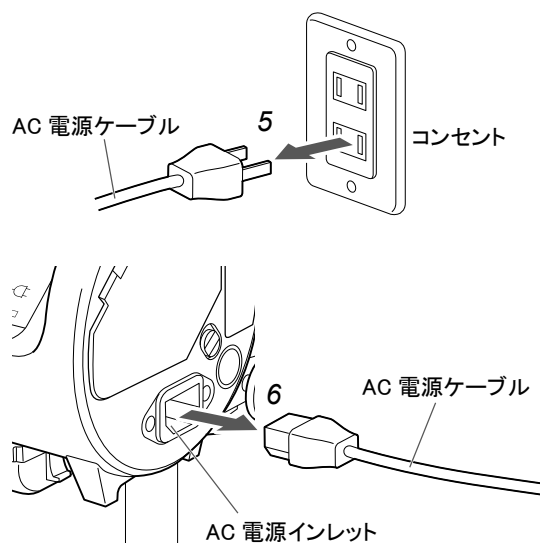
4. [はい] をタップします。

➡ 電源がオフになります。



5. コンセントから AC 電源ケーブルを抜きます。

6. AC 電源インレットから AC 電源ケーブルを抜きます。



ウロチェッカーを取り外す

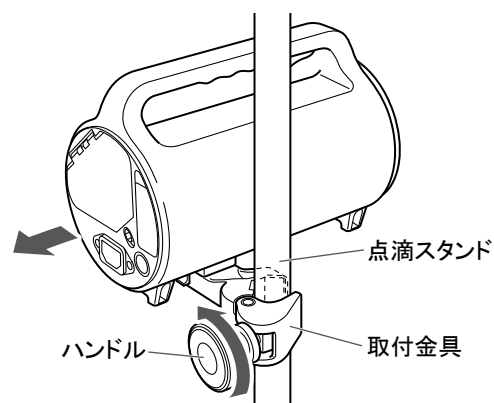
.....

1. 本製品を点滴スタンドから取り外します。

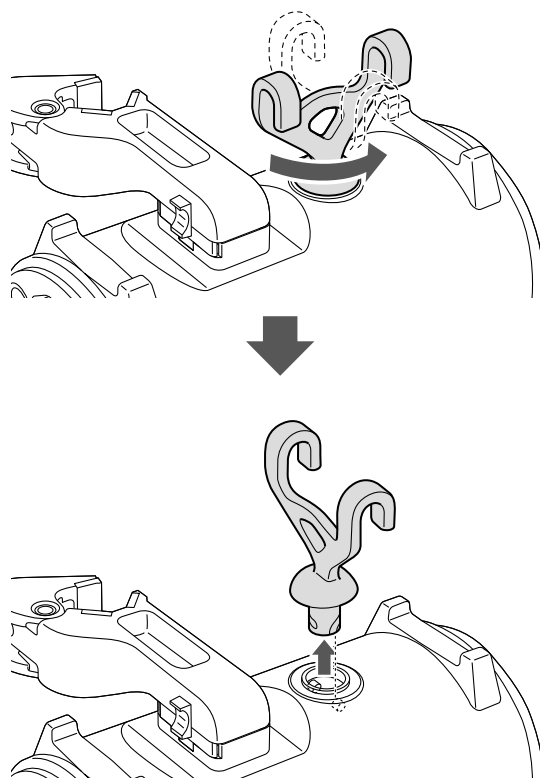
- ・ 取付金具のハンドルを回して緩めてください。

！注 記

取付金具のクランプを緩める際に、本製品が落下しないように取手を持つなどしながら注意してハンドルを回してください。



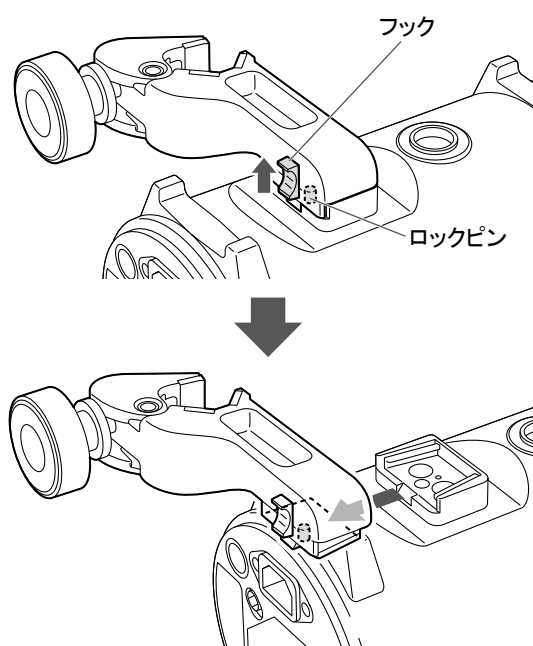
- 2.** ウロバッグフックを反時計方向に 90°回し、ウロチェッカー本体からウロバッグフックを抜き取ります。



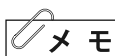
5

- 3.** 取付金具のフックを引き上げながら取付金具をスライドさせます。

➡ ロックピンが押し下がり、ウロチェッカー本体から取付金具が外れます。



- 4.** 本製品を清掃します。



本製品の清掃については、「使用後のお手入れ（清掃）」
☞ (p 45) をご覧ください。



6

各種設定の詳細

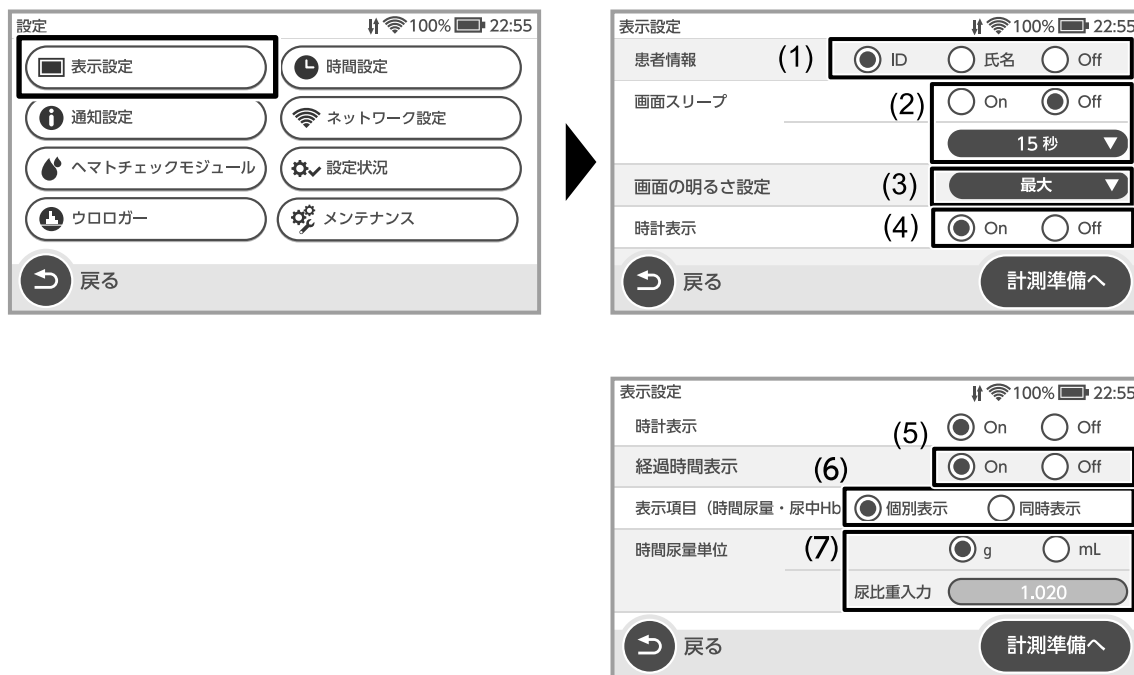
計測前および計測中に本製品の各種設定ができます。
設定できる項目は以下のとおりです。詳細については各参照先をご覧ください。

設定項目	説明	参照先
表示設定	計測画面の表示方法を設定します。	☞ p 35
時間設定	現在の時刻および計測時間を設定します。	☞ p 37
通知設定	乏尿、多尿、ウロバッグ充满、および一時停止の通知に関する設定をします。	☞ p 39
ネットワーク設定	Wi-Fi 及び Ethernet の On / Off を切り替えます。初期設定にてウロロガー連携が On の場合のみボタンが表示されます。	☞ p 40
ヘマトチェックモジュール	尿中ヘモグロビン濃度計測に関する各種設定を行います。ヘマトチェックモジュールを接続する場合にのみ必要となる設定です。	☞ p 41
メンテナンス	本製品のメンテナンスに関わる項目を設定します。計測中にメンテナンス設定を変更することはできません。	☞ p 42
ウロロガー	ウロロガーと連携するかどうかを On / Off で切り替えます。初期設定にてウロロガー連携が On の場合のみボタンが表示されます。	☞ p 43
設定状況	現在の設定状況を一覧で表示します。	☞ p 44

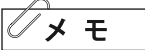
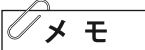
6

表示設定

計測画面の表示方法を設定します。設定画面の「表示設定」をタップしてください。

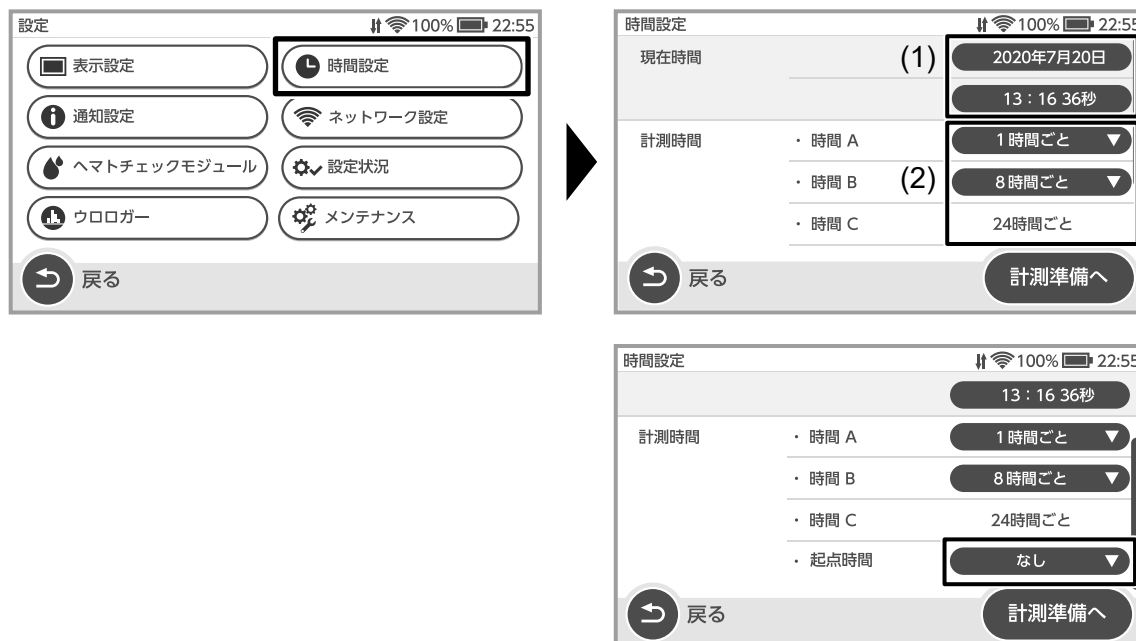


■ 設定項目の詳細

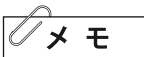
No.	設定項目	説明	初期値
(1)	患者情報	計測画面上部に表示する患者情報の表示方法を選択してください。 [ID] : 患者 ID が表示されます。 [氏名] : 患者の氏名が表示されます。 [Off] : 患者情報は表示されません。  未登録の場合は何も表示されません。	ID
(2)	画面スリープ	画面スリープ機能の On / Off、およびスリープ状態になるまでの時間を設定してください。 [On] : 画面スリープ機能が有効になります。 [Off] : 画面スリープ機能が無効になります。 ※ [On] を選択した場合、スリープ状態になるまでの時間を設定してください。	Off (15 秒)
(3)	画面の明るさ設定	画面の明るさを 4 段階 (暗い / 普通 / 明るい / 最大) から設定してください。	最大
(4)	時計表示	計測画面の上部に現在の時刻を表示するかどうかを設定してください。 [On] : 時刻が表示されます。 [Off] : 時刻は表示されません。	On
(5)	経過時間表示	計測開始からの経過時間を表示するかどうかを設定してください。 [On] : 経過時間が表示されます。 [Off] : 経過時間は表示されません。	On
(6)	表示項目	2 種類の計測値 (時間尿量および尿中ヘモグロビン濃度) の表示方式を設定してください。 [個別表示] : 1 画面に時間尿量と尿中ヘモグロビン濃度のどちらかしか表示されません。 [同時表示] : 1 画面に時間尿量と尿中ヘモグロビン濃度の両方が表示されます。	個別表示
(7)	時間尿量単位	時間尿量の表示単位、および尿比重値を設定してください。 [g] : 重さとしてグラム表示します。 [mL] : 容量としてミリリットル表示します。 [尿比重入力] : 計測した重さを容量に変換するため、尿比重値を入力してください。  尿比重は、時間尿量単位が [mL] の場合のみ入力することができます。 計測中は単位の変更はできません。計測前に設定しておく必要があります。	g 1.020

時間設定

現在の時刻および計測時間の周期を設定します。設定画面の「時間設定」をタップしてください。



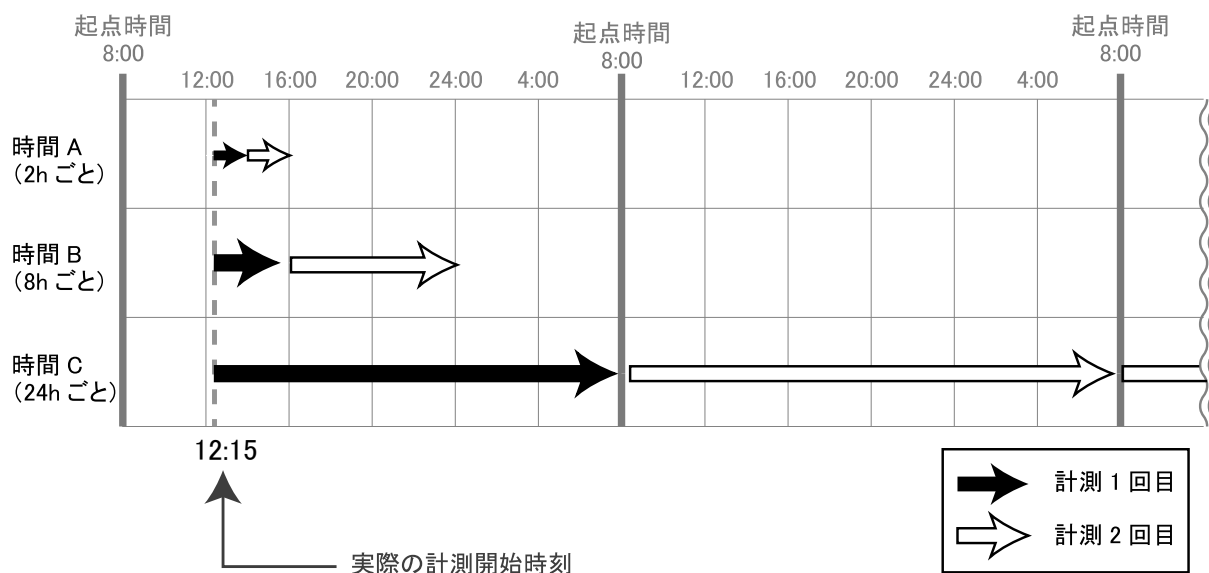
■ 設定項目の詳細

No.	設定項目	説明	初期値
(1)	現在時間	現在の時刻を変更する場合に設定してください。  計測中はこの設定を変更できません。計測前に設定しておく必要があります。また、初期設定にて時間同期を On に設定した場合もこの設定を変更できません。	—
(2)	計測時間	計測する時間間隔を設定します。時間間隔は A・B・C の 3 つまで登録できます (C は 24 時間間隔で固定)。 [時間 A] : ICU など、短い間隔で尿量計測が必要な場合の計測周期 [時間 B] : 一般病棟など、計測頻度が少ない場合の計測周期 [時間 C] : 24 時間尿量を確認 [起点時間] : 複数のウロチェッカーの計測時刻を揃えるために指定する、起点となる時間  計測中はこの設定を変更できません。計測前に設定しておく必要があります。起点時間と計測周期についての詳細は次のページをご覧ください。	時間 A : 1 時間ごと 時間 B : 8 時間ごと 起点時間 : なし

■ 起点時間と計測周期について

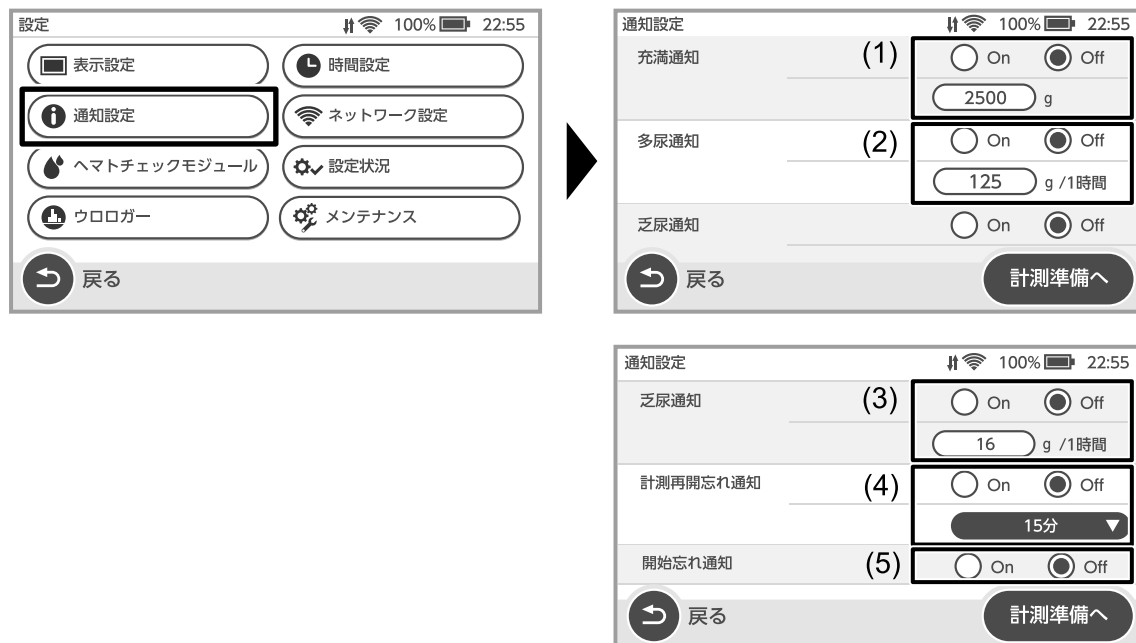
起点時間を設定すると、実際の開始時刻ではなく、設定した起点時間から 24 時間尿量を計測します。
以下の表および図は、時間 A・B をそれぞれ 2 時間・8 時間に設定し、起点時間を「08:00」とした場合の例です（計測開始時刻：12:15）。

設定項目	設定（例）	説明	2 回目の計測時間
時間 A	2 時間	起点時間から遡り、2 時間周期で最も近いタイミングから計測を開始します。	14:00 から 2 時間
時間 B	8 時間	起点時間から遡り、8 時間周期で最も近いタイミングから計測を開始します。	16:00 から 8 時間
時間 C	24 時間（固定）	次の起点時間から 24 時間計測を開始します。	翌日 8:00 から 24 時間

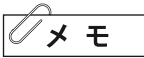
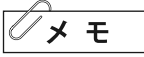


通知設定

乏尿、多尿、ウロバッグの充満、および計測の一時停止の通知について、しきい値（発報する基準値）を設定します。設定画面の「通知設定」をタップしてください。



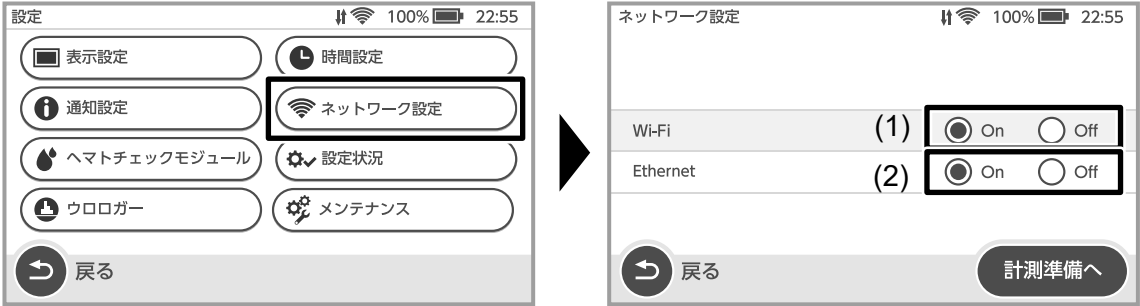
■ 設定項目の詳細

No.	設定項目	説明	初期値
(1)	充満通知	ウロバッグが満杯になったことを通知します。[On]（通知する）を選択した場合は、しきい値を入力してください。 [On] : 充満通知をする [Off] : 充満通知をしない	Off (2500g)
(2)	多尿通知	多尿通知とは、時間 A の時間尿量が指定のしきい値を超えた場合に通知する機能です。[On]（通知する）を選択した場合は、しきい値を入力してください。 [On] : 多尿通知をする [Off] : 多尿通知をしない  しきい値の単位は「時間 A」で設定した計測周期によって変化します。	Off (125g/1 時間)
(3)	乏尿通知	乏尿通知とは、時間 A の時間尿量が指定のしきい値を下回った場合に通知する機能です。[On]（通知する）を選択した場合は、しきい値を入力してください。 [On] : 乏尿通知をする [Off] : 乏尿通知をしない  しきい値の単位は「時間 A」で設定した計測周期によって変化します。	Off (16g/1 時間)
(4)	計測再開忘れ通知	一時停止状態が指定した時間を超過して継続していることを通知します。[On]（通知する）を選択した場合は、通知時間を指定してください。 [On] : 計測再開忘れを通知する [Off] : 計測再開忘れを通知しない	Off (15 分)
(5)	開始忘れ通知	電源を入れて 10 分以上計測が開始されない場合、お知らせする機能です。	Off

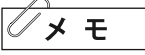
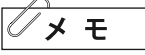
ネットワーク設定

Wi-Fi 及び Ethernet 設定の On / Off を切り替えます。設定画面の [ネットワーク設定] をタップしてください。

 ウロロガーと連携する場合にのみ必要となる設定です。



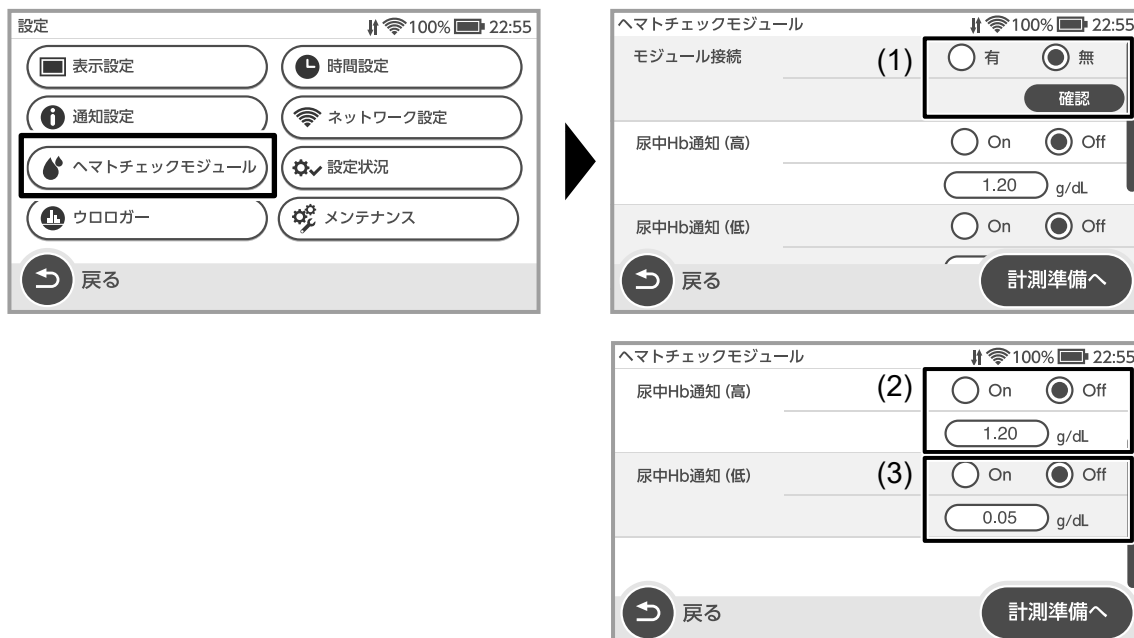
■ 設定項目の詳細

No.	設定項目	説明	初期値
(1)	Wi-Fi	ウロロガーとの連携で、Wi-Fi を使用するかどうかを選択してください。 [On] : Wi-Fi を使用する [Off] : Wi-Fi を使用しない  Wi-Fi を使用する場合は、初期設定でウロロガー連携の設定がされている必要があります。	On
(2)	Ethernet	ウロロガーとの連携で、Ethernet を使用するかどうかを選択してください。 [On] : Ethernet を使用する [Off] : Ethernet を使用しない  Ethernet を使用する場合は、初期設定でウロロガー連携の設定がされている必要があります。	On

ヘマトチェックモジュール設定

尿中ヘモグロビン濃度計測に関する各種設定を行います。設定画面の「ヘマトチェックモジュール」をタップしてください。

 **メモ** ヘマトチェックモジュールを使用する場合にのみ必要となる設定です。

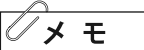


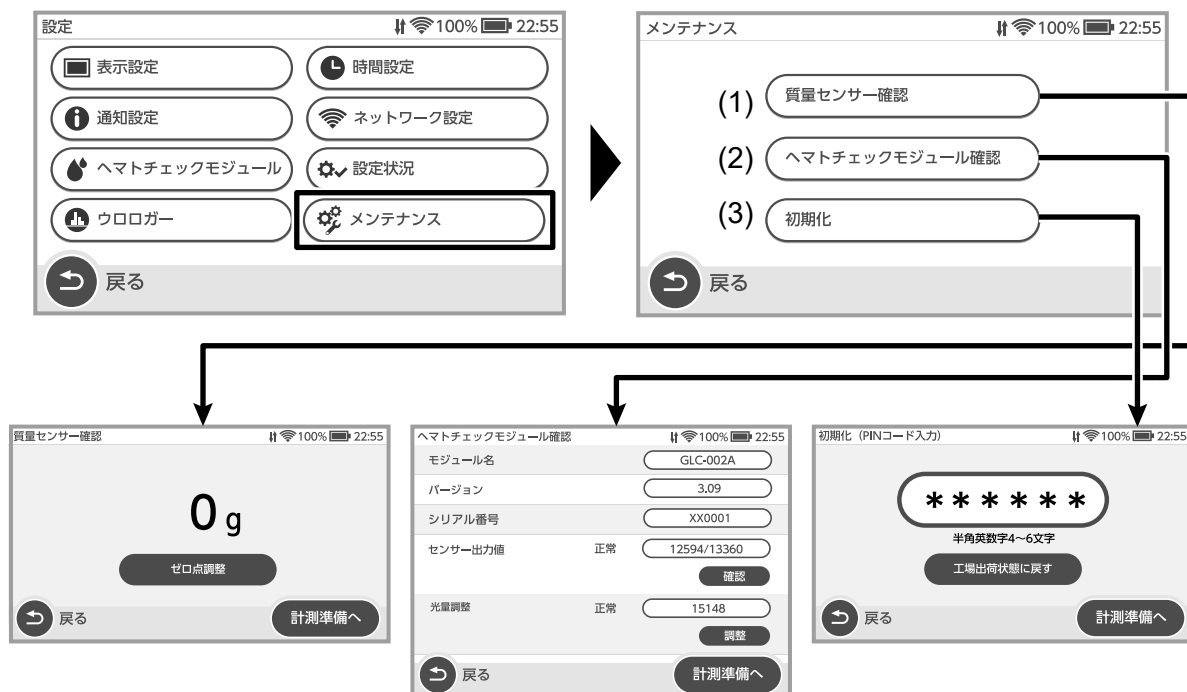
■ 設定項目の詳細

No.	設定項目	説明	初期値
(1)	モジュール接続	ヘマトチェックモジュールを接続するかしないかを選択してください。 [有] : 接続する [無] : 接続しない  メモ - 計測中はこの設定を変更できません。計測開始前に設定しておく必要があります。 [無] を選択すると、実際にヘマトチェックモジュールを接続しても計測されません。	無
(2)	尿中Hb通知(高)	尿中ヘモグロビン濃度が指定した値を上回ったことを通知できます。[On]を選択した場合は、しきい値を入力してください（入力範囲:0.05～1.20）。 [On] : 通知する [Off] : 通知しない	Off (1.20g/dL)
(3)	尿中Hb通知(低)	尿中ヘモグロビン濃度が指定した値を上回った後に低下すると通知します。[On]を選択した場合は、しきい値を入力してください（入力範囲:0.05～1.20）。 [On] : 通知する [Off] : 通知しない	Off (0.05g/dL)

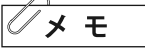
メンテナンス

本製品のメンテナンスに関わる項目を設定します。設定画面の「メンテナンス」をタップしてください。

 計測中にメンテナンスの設定を変更することはできません。計測を始める前に設定しておく必要があります。



■ 設定項目の詳細

No.	設定項目	説明
(1)	質量センサー確認	メンテナンス用おもりを用いて、質量センサーが正しく計測できていることを確認します。以下の手順で確認してください。 1. ウロバッグフックを取り付ける。 2. 「ゼロ点調整」をタップする。 3. 表示値が0になったことを確認し、ウロバッグフックにおもりを取り付ける。 4. 表示値がおもりの重さと同じかどうかを確認する。
(2)	ヘマトチェックモジュール確認	ヘマトチェックモジュールのモジュール名、バージョン、シリアル番号、センサー出力値が表示されます。また、光量調整をすることができます。詳細はヘマトチェックモジュールの取扱説明書をご覧ください。  確認は、「ヘマトチェックモジュール設定」でモジュール接続が On のときのみ変更できます。(p 41)
(3)	初期化	本製品を初期化する場合のメニューです。初期設定時に登録した PIN コードを入力し、「工場出荷状態に戻す」をタップすると、すべての設定がリセットされ、初期化されます。

ウロロガー設定

ウロロガーとの連携に関する設定を行います。設定画面の「ウロロガー」をタップしてください。



メモ

ウロロガーと連携する場合にのみ必要となる設定です。



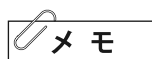
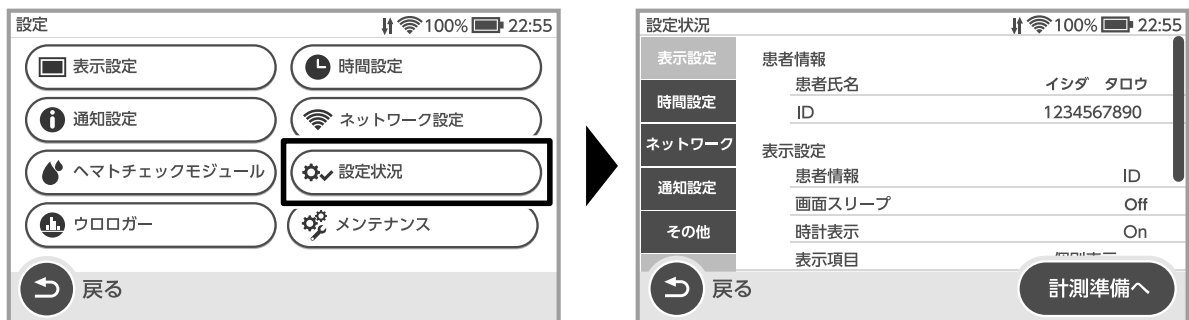
■ 設定項目の詳細

No.	設定項目	説明	初期値
(1)	ウロロガー連携	ウロロガーと連携するかしないかを選択してください。 [On] : 連携する [Off] : 連携しない	On
(2)	場所選択	使用場所を選択することで、ウロロガー上でフィルタリングし一覧表示を見やすくします。	全て
(3)	NFC 転送	本製品に NFC リーダーをかざしてボタンを押すことで専用アプリに計測情報を送信します。 送信コードは「000000」です。	—

6

設定状況

現在の各種設定状況を一覧で確認できます。設定画面の「設定状況」をタップしてください。

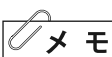


画面をスクロールすると一覧で設定状況を確認できます。

本体の定期点検や清掃、および消耗部品の取り扱いについて説明します。

使用後のお手入れ（清掃）

汚れた状態で使用すると、正しく動作しない場合や、故障の原因となる可能性があります。本製品を安全にご使用いただくために、使用後は必ず本体の清掃をしてください。



メモ

- ・薬液等が付着していると、機器が正しく動作しないことがあります。薬液等が付着した場合は、速やかに汚れをよく拭き取ってください。
- ・AC電源コネクタ、ウロバッグフック、チューブクランプ部、取付金具も定期的に清掃してください。汚れた状態で本製品を用いると、故障や動作不良につながる可能性があります。



警告

清掃前に必ず本体の電源を切り、AC電源ケーブルを抜いてください。感電による負傷のおそれがあります。

AC電源コネクタ清掃後は、十分乾燥させてから使用してください。乾燥が不十分なまま使用した場合は、感電による負傷のおそれがあります。また、ショートするなど本製品が故障する可能性があります。

！注記

オートクレーブなどの滅菌器は使用しないでください。故障の原因となります。

ドライヤー等の乾燥機は使用しないでください。破損・故障の原因となります。

ウロチェッカー本体内部に液体を流入させないでください。故障する原因となります。

使用可能な消毒液以外を用いた清掃は避けてください。破損や故障の原因となります。

エアゾール製品を使用しないでください。破損や故障の原因となります。

■ 使用可能な消毒液

使用可能な消毒液（成分名）例は以下のとおりです。消毒液を使用する際は、各消毒液の添付文書の内容（希釈濃度等）に従ってください。

消毒液（成分名）	濃度
消毒用エタノール	76.9 ～ 81.4vol%
消毒用次亜塩素酸ナトリウム液	塩素濃度 0.02 ～ 0.1 %
クロルヘキシジングリコン酸塩	～ 5%
クレゾール石鹼液	—
ベンザルコニウム塩化物	～ 5%
イソプロピルアルコール	～ 17%

以下の部位は、消毒液を用いた清掃を避けてください。破損や故障の原因となります。

- ・ ウロバッグフック取り付け穴
- ・ USB コネクタ、LAN コネクタ
- ・ バッテリー部

■ 清掃方法

1. 消毒液を浸したガーゼ等をよくしぼってから本体を軽く拭きます。
2. その後、水またはぬるま湯を浸してよくしぼったガーゼ等で、消毒液を拭き取ります。
3. 更に乾いた柔らかい布等で水気をよく拭き取ります。

保管上の注意

保管条件	補足事項
環境仕様を確認し、条件に適した場所で保管してください。 「一般仕様」 (p 53)	ウロチェッカー本体にバッテリーをセットし AC 電源ケーブルを差し込むことでバッテリーが充電されます。 次回使用時のためにバッテリーを充電しておいてください。 また、長期間使用せずに保管する場合は本体からバッテリーを抜いてください。 ・バッテリーを充電後に長期間放置すると、自己放電により充電量が低下します。 ・放電状態のまま保管するとバッテリーが劣化し、電源の寿命が短くなる可能性があります。

！ 注 記

日光や紫外線照射下に放置しないでください。外装が変色、変形、変質することがあります。

以下の場所には保管しないでください。誤作動や故障の原因となります。

- ・ 振動、塵埃、噴霧下、腐食性ガス等の多い場所
- ・ 気圧、温度、湿度、風通し、塩分、硫黄分を含んだ空気等により悪影響の生じる可能性のある場所
- ・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所

定期点検

安全に、より長くお使いいただくために、定期的に点検を実施してください。本製品外観に異常が認められない場合でも、内部が破損し、計測精度や通知機能等の本製品のもつ機能や性能が得られない可能性がありますので、各点検で異常が認められた場合は直ちに使用を中止し、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。

定期点検の目安	定期点検は6ヶ月に一度を目安に行ってください。
---------	-------------------------

！注 記

本製品の分解、改造、修理をしないでください。故障や破損、装置性能の劣化を引き起こす可能性があります。

点検項目	点検内容	参照先
各部位の破損や汚れ	以下の部位に破損や汚れがないか確認し、薬液等が付着している場合は速やかに拭き取ります。 ・ウロチェッカー本体 ・取付金具 ・ウロバッグフック ・AC電源ケーブル ・バッテリー	「使用後のお手入れ（清掃）」 ☞ (p 45)
バッテリーの有効期限 (交換時期)	バッテリー購入時から交換目安の期間を超えていないかを確認し、超えている場合は新しいバッテリーに交換してください。	「交換部品について」☞ (p 49)
ウロバッグフック、 取付金具	正しく取り付けができるか確認します。	「点滴スタンドに取り付ける」☞ (p 17)
電源オン	正常に電源オンできるか確認します。	「ウロチェッカーを起動する（初めて使うとき）」☞ (p 8)
質量センサー (メンテナンス画面)	メンテナンス画面を表示し、おもりを取り付け、表示値がおもりの重さと同じかどうかを確認してください。確認時は以下に注意してください。 ・本製品は水平であること。 ・おもりを載せる際は周りにものが当たらないようにすること。 ・他のおもりを使用しないこと。	「メンテナンス」☞ (p 42)
通信状態	各種設定画面を表示し、Wi-Fi や NFC の通信に問題ないか確認します。	「6 各種設定の詳細」☞ (p 35)
電源オフ	正常に電源オフできるか確認します。	「計測を終了する／ウロチェッカーを取り外す」☞ (p 30)

交換部品について

ウロチェッカー本体のヒューズや付属のバッテリーは、経年劣化が進むと交換が必要になります。交換部品については、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。

本製品の製造終了後の定期交換部品及び保守部品の保有期間は6年です。発売から長期を経過した場合は部品メーカーによる製造中止等により、保有期間以前に部品を供給できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

！注記

交換部品は弊社指定のもの以外使用しないでください。本製品のもつ機能や性能が得られない可能性があります。

■ バッテリーの交換

付属バッテリーの充電回数が多くなったり、年月が経過すると、1回の充電で利用できる時間が短くなります。残量の減少スピードが速くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する必要があります。

交換の目安	・ バッテリーは繰り返し800回充電し使用することができます。2年を目安に交換ください。 ・ 充電しても短時間でバッテリー残量がなくなる場合は交換時期です。
バッテリーのリサイクル	本製品で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。不要になった電池は、廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。  Li-ion リサイクル協力店に関するお問合せ先は、下記、一般社団法人JBRCのホームページをご覧ください。 https://www.jbrc.com/

■ 部品の廃棄

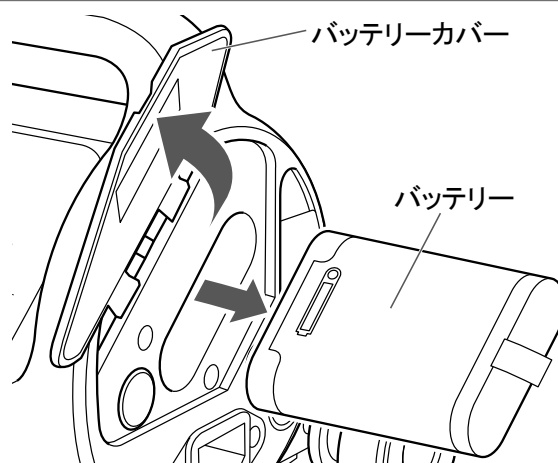
交換後の古い部品は、お使いの地域での廃棄物の処理に関する規則に従って適切に処理してください。

■ ヒューズの交換

電源をオンにしても本製品が起動しない場合、ヒューズが切れている可能性があります。以下の手順で新しいヒューズと交換してください。

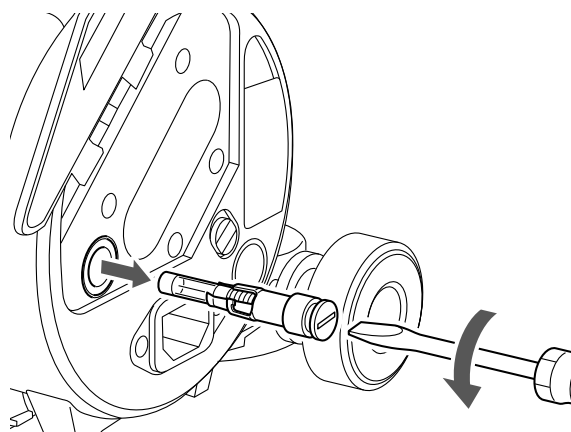
1. AC 電源ケーブルとバッテリーを抜きます。

- コンセントから AC 電源ケーブルを抜き、AC 電源インレットから AC 電源ケーブルを抜いてください。
- バッテリーカバーを開け、バッテリーを抜き取ってください。

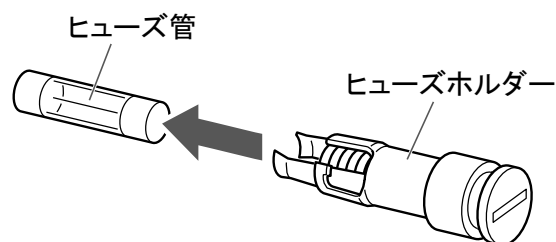


2. ヒューズホルダーとセットになった古いヒューズを取り出します。

- マイナスドライバーを使って、反時計回りに回して取り出してください。



3. ヒューズホルダーから古いヒューズ管を取り外し、新しいヒューズと交換します。



4. ヒューズホルダーを取り付けます。

- マイナスドライバーを使って、時計回りに回して固定してください。
- ヒューズを取り付けた後は、バッテリーを戻して、バッテリーカバーを閉じてください。

5. 電源が入ることを確認します。

- AC 電源ケーブルを本体の AC 電源インレットに差し込み、コネクタをコンセントに差し込んでください。
- 本体の電源ボタンを押して電源が入ることを確認してください。

ここでは、本製品の使用における代表的なトラブルシューティングを説明します。指示に従ってもトラブルが解消しない場合や、該当する症状が掲載されていない場合は、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。

お知らせ一覧

画面表示	条件／対処方法
バッテリーに異常があります	一定時間経過しても充電が完了しない、バッテリーの内部温度が高いなど、バッテリー故障の可能性があります。バッテリーの点検をしてください。 「定期点検」☞ (p 48)
バッテリーまたは AC 電源ケーブルをさしてください	電源が供給されておらず、サブバッテリーのみで駆動しています。
バッテリー残量がありません	バッテリーのみで電源供給をしている場合に、バッテリー残量が 10%になると表示されます。ウロチェッカー本体に AC 電源ケーブルを接続し、コンセントから電源を供給してください。
質量センサーに異常があります	ロードセルの出力値が正常ではありません。再度メンテナンスの設定画面から質量センサー確認をしてください。 「メンテナンス」☞ (p 42)
ヘマトチェックモジュールと接続できません	本製品を再起動し、設定画面から再度モジュール接続を実行してください。詳細はヘマトチェックモジュールの取扱説明書をご覧ください。
ウロバッグがいっぱいです	ウロバッグ内の尿量が満杯になり、これ以上貯留できません。計測を一時停止してバッグから尿を排出してください。 「計測を一時停止する／再開する」☞ (p 28)
ウロチェッカーが傾いています	本製品が水平に設置されていません。傾きがないように正しく設置してください。 「4 ウロチェッカーを取り付ける」☞ (p 15)
時間尿量が少ないです	「通知設定」☞ (p 39) で指定した乏尿通知のしきい値を下回っています。
時間尿量が多いです	「通知設定」☞ (p 39) で指定した多尿通知のしきい値を上回っています。
Wi-Fi が圏外です	Wi-Fi 接続している場合に、Wi-Fi が圏外になっています。
計測が開始されていません	計測準備画面の状態で 10 分以上経過しています。
一時停止中です	「通知設定」☞ (p 39) で指定した計測再開忘れ通知の時間が経過しました。
UR	計測値が計測限界値の下限値を下回っています。
OR	計測値が計測限界値の上限値を上回っています。

故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、以下に従って確認し、それぞれの対処法に従ってください。指示どおりに処置をしても回復しなかったり、異常が解決されない場合は、製品の故障が考えられます。直ちに使用を中止し、弊社またはご購入先の販売業者までご連絡ください。

状況	考えられる原因	対処方法
電源が入らない、計測画面が表示されない	AC 電源ケーブルがコンセントから抜けている	コンセントに接続されているか確認してください。
	付属の AC 電源ケーブルを使用していない	付属の AC 電源ケーブルを使用してください。
	バッテリー残量がなくなっている	バッテリーを充電してください。
	ヒューズが切れている	ヒューズを新しいものと交換してください。 「■ ヒューズの交換」🔗 (p 50)
バッテリーが充電できない	付属以外のバッテリーを使用している	付属のバッテリーを使用してください。
Wi-Fi 接続ができない (ウロロガー連携時)	Wi-Fi がオフになっている	Wi-Fi をオンにしてください。 「ネットワーク設定」🔗 (p 40)
	Wi-Fi の設定が間違っている	設定が正しいか確認してください。
	無線エリアの圏外である	電波状態が良いところへ移動してください。
尿量が計測されない、正しい計測ができない	対象外のウロバッグを使用している	使用するウロバッグが条件を満たしているか確認してください。 「使用可能なウロバッグについて」🔗 (p 15)
	ウロバッグが正しく取り付けられていない／ウロバッグが床についている	ウロバッグはウロバッグフックに吊り下げ、ウロバッグの高さが対象となる患者の腰の位置より下になるように取り付けてください。
	導尿チューブが正しく取り付けられていない	導尿チューブは多少のたるみをもたせ、チューブクランプにとおしてください。
	本製品が点滴スタンドに正しく取り付けられていない／本製品が傾いている	本製品は水平かつしっかり固定されていないと、正常な計測ができません。点滴スタンドへの取り付けが正しいか確認してください。 「点滴スタンドに取り付ける」🔗 (p 17)

ここでは、本製品の詳しい仕様と性能について説明します。

一般仕様

項目	内容
型式	URC-50M
外形寸法	W255 × H170 × D130mm 以下（ウロバッグフック、取付金具を除く）
本体質量	1,550g 以下（ウロバッグフック、取付金具除く）
バッテリー	型式 : RRC2040（RRC Power Solutions） 容量 : 3,350mAh 最大連続計測時間 : 36 時間（動作モードによる） 満充電時間 : 6 時間以上 適合規格 : IEC62133-2:2017 ※使用環境および輸送・保管環境はウロチェッカー本体に準ずる。
サブバッテリー	容量 : 660mAh 最大保護時間 : 30 分 適合規格 : IEC62133 ed.2
ヒューズ	定格電圧 : 250V 定格電流 : 3.15A 動作タイプ : タイムラグ サイズ : 5mm × 20mm 遮断容量 : 35A / 250VAC 低遮断容量
インターフェース	USB ポート LAN ポート : RJ-45 LAN port（10Mbps 以上） NFC : ISO/IEC18092（NFC IP-1）に準ずる 周波数 13.56MHz ASK 変調方式 実効放射電力 3dBm 未満 Wi-Fi : IEEE802.11b/g/n/a（2.4GHz / 5GHz） セキュリティ認証方式 : WPA2-Personal / WPA2-Enterprise 変調方式（DSSS、OFDM） 実効放射電力 20 dBm 未満 周波数範囲 : 2.4GHz 11b (2412MHz ~ 2472MHz) 2.4GHz 11g/n 20MHz (2412MHz~2472MHz) 5GHz 11a/n 20MHz (5180MHz~5825MHz) 5GHz 11n 40MHz (5190MHz ~ 5795MHz) ヘマトチェックモジュール接続ポート : DC5V 0.05A UART 通信
使用環境	使用温度 : 5 ~ 35℃ 使用湿度 : 10 ~ 85% RH（結露なきこと）
輸送・保管環境	輸送・保管温度 : -5 ~ 60℃ 輸送・保管湿度 : 10 ~ 85% RH（結露なきこと）
保護等級	IP24

項目	内容
定格電源	単相 AC100V (50/60Hz) 0.25A
電撃に対する保護の形式 による分類	AC 電源接続時 : クラス II 機器 AC 電源不接続時 : 内部電源機器
電撃に対する保護の程度 による装着部の分類	BF 形装着部
計測範囲	0 ~ 3,000g
計測精度	± 2g 以下 (機械精度) ※計量精度はウロバッグの取り付けた状態により異なる
尿量計測表示目量	1g
耐用期間	6 年 (自己認証による) ※指定の保守・点検並びに消耗品の交換をし、標準的な使い方をした場合

EMC 技術仕様

本製品は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格 IEC 60601-1-2：2014/JIS T 0601-1-2：2018 に適合している装置です。適合性に関する情報を次に記載しています。本製品は医用電気機器のため、EMC に関して特別な注意を要し、次に示す EMC 情報に従って設置および使用しなければなりません。

EMC（電磁両立性）とは

次の 2 つを満たす能力のことです。

- ・ 周囲の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
- ・ 周囲の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

EMC（電磁両立性）に係わる技術的な説明

医用電気機器は EMC に関して特別な注意を必要とし、次に記載する EMC の情報に従って使用しなければなりません。

- ・ 携帯形 RF 通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）を、ウロチェッカー URC-50M のあらゆる部分から 30 cm よりも近づけないでください。近づけた場合、機器の性能の低下が生じる可能性があります。
- ・ 付属品や別売品以外の機器などの使用により、エミッションが増加したり、イミュニティが低下することがあります。
- ・ 他の機器と隣接させたり積み重ねて本製品を使用しないでください。隣接させたり、積み重ねて使用する場合には、その配置での正常な動作を確認する必要があります。

■ ガイダンスおよび製造販売業者による宣言（電磁エミッション）

本製品は次に指定した電磁環境内で使用します。
本製品の使用者は、次のような環境内であることを、必ず確認してください。

エミッション試験	適合性	電磁環境 – ガイダンス
RF エミッション CISPR11	グループ 1	本製品は、内部機能のためだけに RF エネルギーを用いています。したがって、その RF エミッションは、非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ないです。
RF エミッション CISPR11	Class B	
高調波エミッション IEC61000-3-2	Class A	
電圧変動 / フリッカエミッション IEC61000-3-3	適合	

■ ガイダンスおよび製造業者による宣言（電磁免疫）（1）

本製品は、次に指定した電磁環境内での使用を意図しています。本製品の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 — ガイダンス
静電気放電（ESD） IEC61000-4-2	接触放電 ± 8kV 気中放電 ± 2kV、± 4kV、 ± 8kV、± 15kV	接触放電 ± 8kV 気中放電 ± 2kV、± 4kV、 ± 8kV、± 15kV	床は、木材、コンクリートまたはセラミックタイルであることが望まれます。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも 30% であることが望まれます。
電氣的ファスト トランジェント／ バースト IEC61000-4-4	± 2 kV 電源ライン ± 1 kV 入出力ライン 繰り返し周波数 100 kHz	± 2 kV 電源ライン ± 1 kV 入出力ライン 繰り返し周波数 100 kHz	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望まれます。
サージ IEC61000-4-5	± 0.5kV 及び ± 1kV ライン - ライン間	± 0.5kV 及び ± 1kV ライン - ライン間	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望まれます。
電源入力ラインにおける 電圧ディップ、短時間 停電および電圧変化 IEC61000-4-11	0%Ut のディップ (0.5 サイクル間) 0%Ut のディップ (1 サイクル間) 70%Ut のディップ (25/30 サイクル間) 0%Ut の停電 (250/300 サイクル間)	0%Ut のディップ (0.5 サイクル間) 0%Ut のディップ (1 サイクル間) 70%Ut のディップ (25/30 サイクル間) 0%Ut の停電 (250/300 サイクル間)	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望まれます。本製品の使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合には、本製品を無停電電源または電池から電力供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC61000-4-8	30A/m	30A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性をもつことが望まれます。

注記：Ut は、試験レベルを加える前の交流電源電圧です。

■ ガイダンスおよび製造業者による宣言（電磁免疫）（2）

本製品は、次に指定した電磁環境内での使用を意図しています。本製品の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 — ガイダンス
伝導 RF IEC61000-4-6 放射 RF IEC61000-4-3	3Vrms 150kHz to 80MHz 3V/m 80MHz to 2.7GHz 無線通信機器からの 近接電磁界 a)	3Vrms 150kHz to 80MHz 3V/m 80MHz to 2.7GHz 無線通信機器からの 近接電磁界 a)	携帯形および移動形 RF 通信機器は、ケーブルを含む本製品のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨分離距離より近づけて使用しないことが望まれます。 推奨分離距離 $d=6/E * \sqrt{P}$ ここで P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、d は、メートル (m) で表した推奨分離距離であり、E はボルト / メートル (V/m) で表した放射電磁界レベルです。

注記 1 80MHz および 800MHz においては、高い周波数範囲を適用します。

注記 2 これからの指針は、すべての状況に対して適用するものではありません。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝播に影響します。

a) 無線通信機器からの近接電磁界は下表のとおりです。

試験周波数 [MHz]	帯域 [MHz]	通信サービス	変調	最大電力 (W)	分離距離 (m)	イミュニティ 試験レベル [V/m]
385	380-390	TETRA 400	Pulse modulation 18Hz	1.8	0.3	27
450	430-470	GMRS 460 FRS 460	FM $\pm$ 5kHz 1kHz sine	2	0.3	28
710	704-787	LTE Band 13, 17	Pulse modulation 217Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800-960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN820 CDMA850 LTE Band 5	Pulse modulation 18Hz	2	0.3	28
870						
930						
1720	1700-1990	GSM 1800 CDMA1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1,3,4,25 UMTS	Pulse modulation 217Hz	2	0.3	28
1845						
1970						
2450	2400-2570	Bluetooth WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE Band7	Pulse modulation 217Hz	2	0.3	28

試験周波数 [MHz]	帯域 [MHz]	通信サービス	変調	最大電力 (W)	分離距離 (m)	イミュニティ 試験レベル [V/m]
5240	5100-5800	WLAN 802.11 a	Pulse modulation 217Hz	0.2	0.3	9
5500						
5785						

■ 携帯形および移動形 RF 通信機器と本製品との間の推奨分離距離

本製品は、放射 RF 妨害を管理している電磁環境内での使用を意図しています。本製品の顧客または利用者は、送信機の最大出力に基づく次に推奨している携帯形および移動形 RF 通信機器（送信機）と本製品との間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するのに役立ちます。

送信機の最大定格出力電力 (W)	送信機の周波数に基づく分離機器 (m)
	80MHz ~ 2.7GHz $d = 0.6 \sqrt{P}$
0.01	0.06
0.1	0.19
1	0.6
10	1.9
100	6

上記にリストしていない最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル (m) で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できます。ここで P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力です。

注記 1 80MHz および 800MHz においては、分離距離は、高い周波数範囲が適用されます。

注記 2 これらの指針は、すべての状況に対して運用するものではありません。建築物・物・人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響します。

医療機器の類別・一般的名称

機械器具 21 内臓機能検査用器具

医療機器クラス分類：クラス I

一般的名称：再使用可能な尿流量計 (JMDN コード 36337000)

シンボル

マークや表示	説明
	本製品に施されている、外部からの電流流入に対する保護の程度（BF 形装着部）を示すマークです。
IP24	JIS C 0920 に規定されている防水、防塵の保護等級を示すマークです。
	取扱説明書（本書）の参照を促すマークです。
	電源がクラス II の機器です。
	本製品をスタンバイ状態から入／切します。
	AC 電源で駆動します。
	バッテリー電源で駆動します。
	直射日光遮へい
	水ぬれ防止
	壊れもの
	上
	上積み段数制限
	温度制限
	取扱注意
	カッター注意

メモ

Handwriting practice area with horizontal dashed lines.



所在地 京都市左京区聖護院蓮華蔵町60-1 〒606-8357 TEL.(075)762-0330

取扱店
